



LANdeVOICE MTSV



安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた商品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。





本製品の使用誤りや使用中に生じた本製品に起因する故障・誤作動あるいは停電等の外部要因によって生じた事故・人身・経済損害等すべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。







本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っておりません。

警告表示の説明





 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。








警告

 禁止	AC100V~240V 以外では、絶対に使用しないでください。 異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
 強制指示	必ず付属の専用 AC アダプタを使用してください。 本商品付属以外の AC アダプタの使用は電圧や端子の極性が異なることがあり、火災、感電、故障の原因となります。
 禁止	電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。 AC アダプタやケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、束ねたり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、AC アダプタをコンセントから抜くときにケーブル部をもって抜かないでください。
 禁止	本商品(AC アダプタを含む)は風通しの悪い場所に設置しないでください。 加熱し、火災や破損の原因となることがあります。

 禁止	本商品 (AC アダプタを含む) を分解・改造・修理はしないでください。感電、火災、けが、故障の原因となります。 また本製品のカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 強制指示	アース線を接続してご使用ください。アース線を接続しないと感電や動作不良の原因となります。取り付け、取り外しの際は必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。電源を入れたままですと、感電や故障の原因となります。
 強制指示	取り付け、取り外しの際は必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。電源を入れたままですと、感電や故障の原因となります。
 強制指示	液体や異物などが内部に入ってしまった時、煙がでた時、異臭、異音がしたら使用を中止し、コンセントから AC アダプタを抜いて使用を中止してください。 そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。
 禁止	濡れた手で商品を扱わないでください。 電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。またコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。
 強制指示	AC アダプタはコンセントに完全に挿しこんでください。 挿しこみが不完全のまま使用するとショートしたり、発熱や発煙、火災の原因となります。

 **注意**

 禁止	他の機器と密着させないでください。故障の原因となります。
 強制指示	本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。 商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きる場合があります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。
 強制指示	事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。 本商品 (AC アダプタ含む) には、ほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。
 禁止	雷のときは、本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。落雷による感電の原因となります。

 <p>禁止</p>	<p>本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。 故障や感電、けがの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光が当たる場所 ・暖房器具の近くなどの高温になる場所 ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所) ・湿気が多い場所や水などの液体がかかる場所 ・水平でない場所や振動の激しい場所 ・ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保温性の高い場所 ・腐食ガスが発生する場所 ・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所 ・火気の周辺、または熱気のこもる場所 ・ユニットバスや天井裏などの高温・多湿で風通しの悪い場所 ・静電気が発生する場所 ・強い磁気や電磁波は発生する装置が近くにある場所
 <p>強制指示</p>	<p>本商品は精密機器のため、落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本商品(ACアダプタを含む)の上に物を置かないでください。誤作動が起こる可能性があります。 また傷がついたり、故障の原因となります。</p>
 <p>強制指示</p>	<p>静電気を除去してから商品に触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本商品に触れる前にドアノブなど身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。人体からの静電気は、本商品を破損またはデータの消失、破損させる恐れがあります。</p>
 <p>強制指示</p>	<p>お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 商品(ACアダプタ含む)の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないよう機器を設置してください。 小さなお子様をご利用になる場合は、商品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。</p>
 <p>強制指示</p>	<p>本商品(ACアダプタ含む)に接続する機器についても各メーカーが定める手順(取扱説明書など)に従って、使用してください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>シンナーやベンジンなどの有機溶剤で本製品を拭かないでください。汚れた場合は、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。</p>

はじめに

このたびは、LANdeVOICE MTSV(本商品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本商品は、IP マルチキャストを使用した一斉告知用サーバー(装置)です。



本書は、本商品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、安全かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱い下さい。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

本商品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://www.a-2.co.jp/>

本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本商品を十分にご活用いただくための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows95、Windows98、WindowsXP は米国 Microsoft 社の商標です。
- ハイパーターミナル(HyperTerminal)は米国 Hilgreave Inc. によって開発されました。また同社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツ一の登録商標です。

目次

安全上のご注意	2
はじめに	5
目次	6
第1章 お使いになる前にお読みください	7
1.1 付属品の確認	8
1.2 各部の名称と働き	8
1.3 LED表示	9
第2章 接続	10
2.1 電源を入れる	11
2.2 LAN ケーブルを接続する	11
第3章 設定の流れ	12
3.1 設定の流れ	13
第4章 設定前の準備	14
4.1 パソコンを接続する	15
4.2 ハイパーターミナルを起動する	15
4.3 ハイパーターミナルの設定を保存する	18
4.4 ハイパーターミナルを終了する	18
第5章 設定の手順	19
5.1 設定ファイルについて	20
5.2 ネットワークの基本設定をする	21
5.3 システム設定をする	31
5.4 電話番号ファイルの設定について	36
第6章 マルチキャスト放送端末の設定	42
6.1 マルチキャスト放送設定のポイント	43
6.2 放送発信元の設定	43
6.3 放送受信チャンネルの設定	44
6.4 呼制御サーバー(CPS8 または CPSV)がある場合の設定	46
第7章 放送方法	47
7.1 放送方法	48
7.2 放送時の注意点	48
7.3 放送受信中のLED	48
付 録	49
付録1 NETCNFG.INI に設定可能なパラメーター一覧	50
付録2 SYSCNFG.INI に設定可能なパラメーター一覧	51
付録3 コマンド一覧	54
付録4 RSHELL による遠隔操作	56
付録5 製品仕様	58

第1章 お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1	付属品の確認	8
1.2	各部の名称と働き	8
1.2.1	前面	8
1.2.2	背面	8
1.3	LED 表示	9

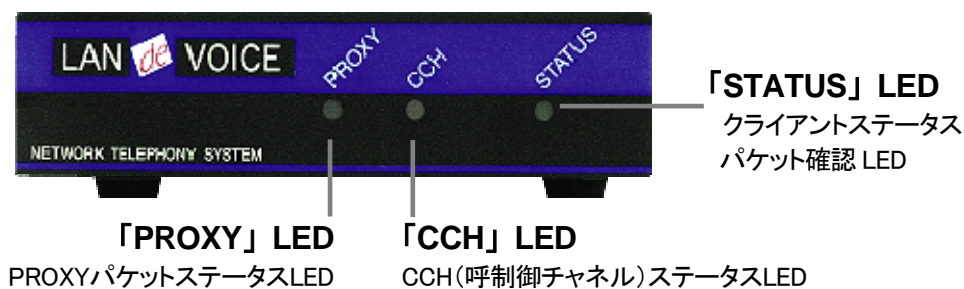
1.1 付属品の確認

本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店・または代理店までご連絡ください。

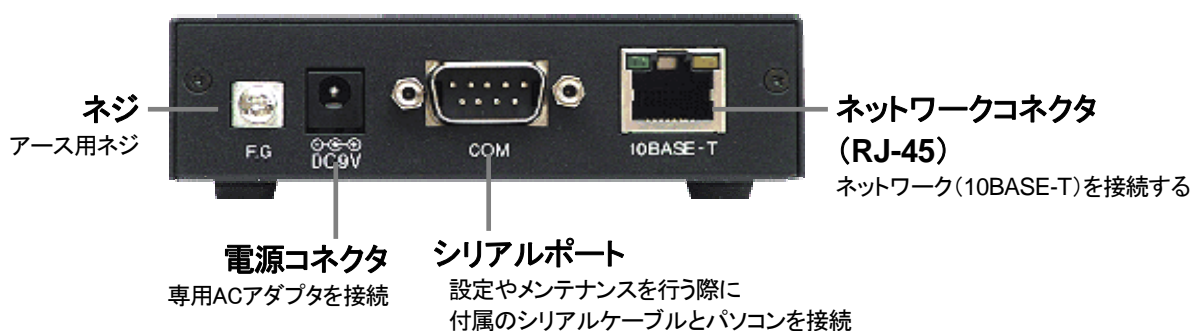
- LANdeVOICE MTSV 本体
- ACアダプタ (本商品専用 9V 0.9A)
- シリアルケーブル (設定用クロスケーブル 1.5m)
- LANケーブル (CAT5、ストレート 10BASE-T 3m)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書 (本書裏面)
- 保証書用シール

1.2 各部の名称と働き

1 前面



2 背面



1.3 LED 表示

本体前面の LED ランプの表示について説明します。

LED 表示			本商品の状態
PROXY	CCH	STATUS	
消灯	消灯	消灯	電源 OFF
最初、全ての LED が赤色に点灯後消灯 しばらくして LED が緑色に点灯			電源投入時
緑	緑	緑	正常状態(待機状態)
緑	橙点滅	緑	呼制御(CCH)パケット処理時
緑	緑	橙点滅	現在の放送数を表示 橙点滅 1 回=1 放送
橙	緑	緑	PROXY 使用時 (音声パケットが転送されている時)
赤点滅	赤点滅	赤点滅	異常時1
赤点滅	赤点滅	緑	異常時2 (PROXY・CCH の交互点滅)



メモ

異常時の解決方法

製品フロントの LED が異常時の状態を表しているときには、起動に必要なファームウェアが失われている可能性があります。その場合、ファームウェアを再ダウンロードすることで正常に戻ります。

ファームウェアは次の WEB ページにて公開しております。

<http://www.a-2.co.jp/support/firmware/index.html>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンアップがされている場合があります。お買い上げ時と公開されているバージョンが異なる場合がありますので、ご了承ください。

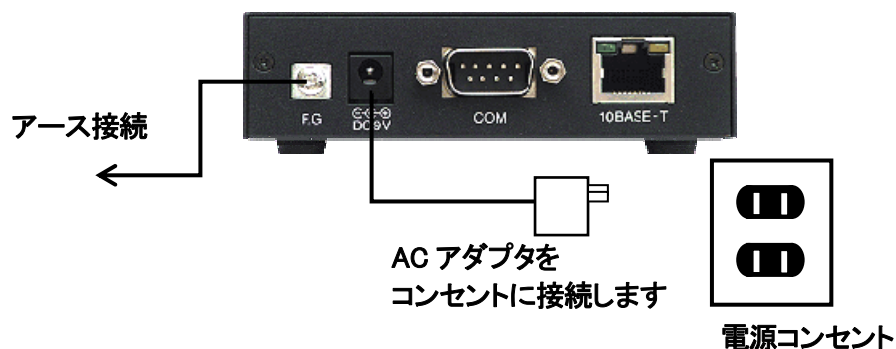
第2章 接続

この章では、本商品の設置と接続の手順について説明します。
設置する前に、P2「安全上のご注意」を必ずお読みください。

2.1	電源を入れる	11
2.2	LAN ケーブルを接続する	11

2.1 電源を入れる

- 本商品には電源スイッチはありません。ACアダプタを「DC9V」に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。自動的に電源が入ります。



- 本商品の電源を切るには、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

2.2 LAN ケーブルを接続する

本商品に他のネットワーク機器を接続する手順について説明します。

- 1 LAN ケーブルを「10BASE-T」と書かれたポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルーターなどのネットワーク機器に接続してください。

メモ リンクランプを確認してください

ネットワークコネクタに正しく接続されている場合は、電源投入後にネットワークコネクタのリンクランプが緑色に点灯します。ご使用になる前にリンクランプが正しく点灯しているかご確認ください。

第3章 設定の流れ

この章では、本商品の設定の手順について説明します。

3.1 設定の流れ 13

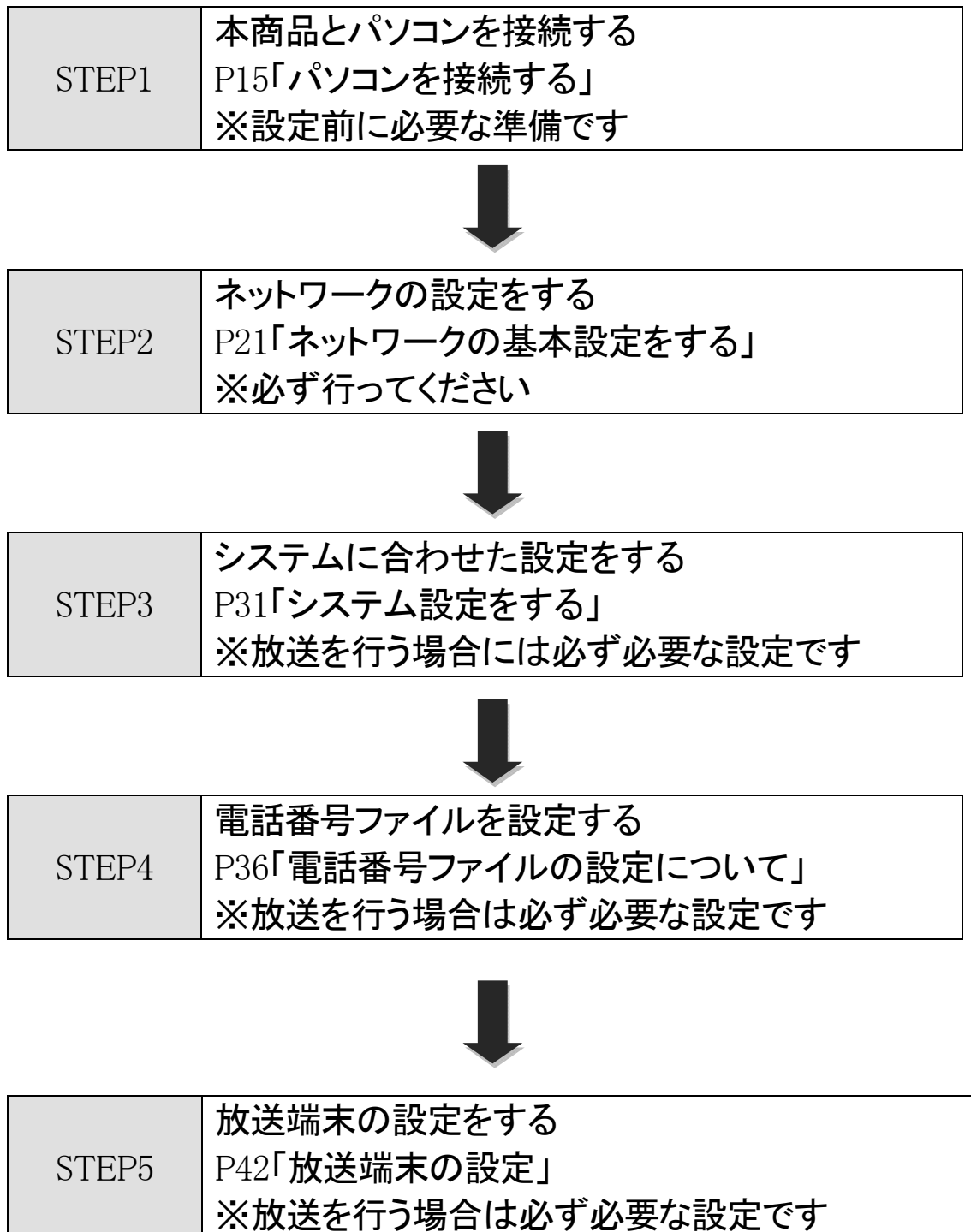
 **注意** 設定の際、次の事を厳守してください

- ・LAN ケーブルを接続した状態で、設定は行わない
- ・設定の最中に、電源の抜き差し(再起動)を行わない

上記以外にも、本書の中にて紹介しております。
本書を良くお読みになり、正しい手順で設定してください。

設定の手順によっては、機能停止、各種データの消失、接続された他のシステムやネットワークへの多大な影響など、障害が起こる可能性があります。

3.1 設定の流れ



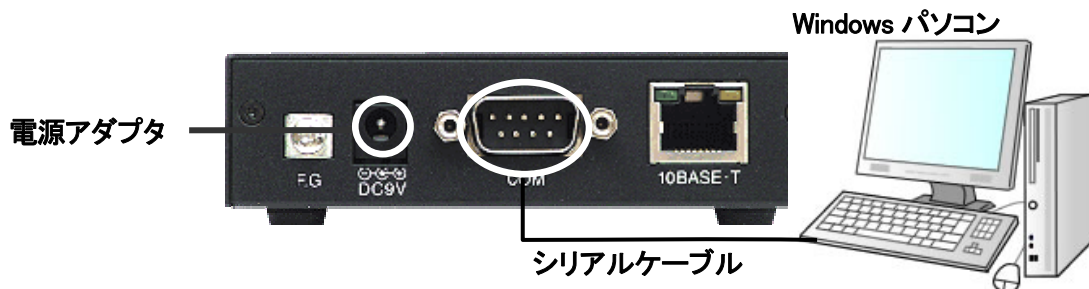
第4章 設定前の準備

この章では、本商品を設定するための設定前の準備を行います。

4.1	パソコンを接続する	15
4.2	ハイパーターミナルを起動する	15
4.3	ハイパーターミナルの設定を保存する	18
4.4	ハイパーターミナルを終了する	18

4.1 パソコンを接続する

- 1 本商品を設定するためにコンソール(パソコン)を接続します。
本商品へ付属されているシリアルケーブルと AC アダプタを接続してください。



注意 設定時は AC アダプタ・シリアルケーブルのみ接続
本商品にLANケーブルを接続した状態で設定を行わないでください。
接続したまま設定を行い、その間に着信があると、本商品の動作に必要なファイルが破損し、故障の原因となる場合があります。

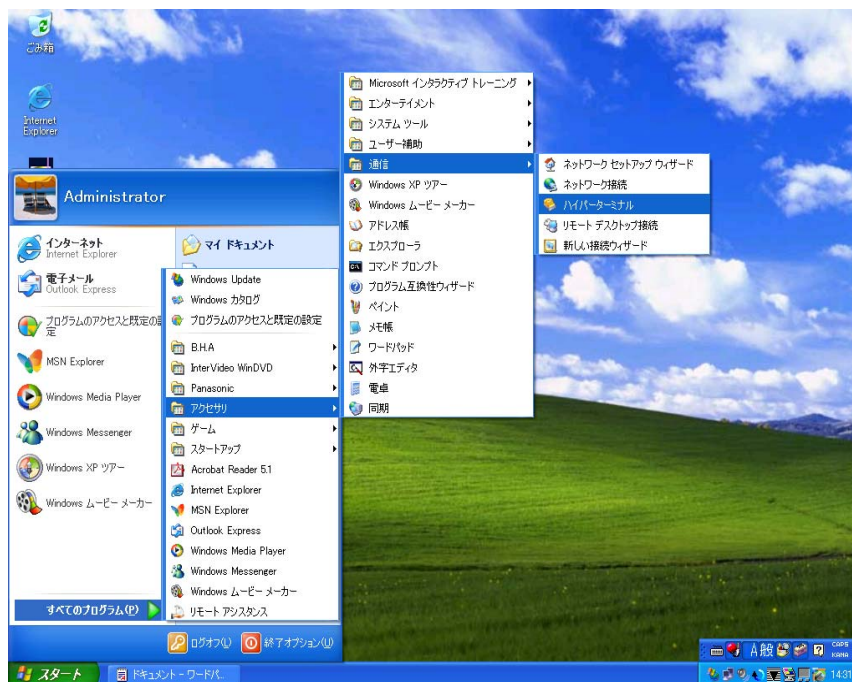
4.2 ハイパーターミナルを起動する

本商品はハイパーターミナルを使用し設定を行います。

【ハイパーターミナルとは】

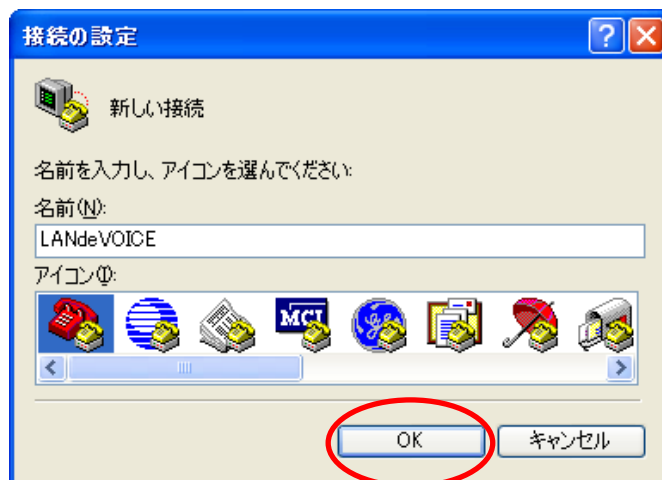
Microsoft Windows (Windows95～XP) に標準でインストールされている通信用ソフトです。

- 1 ハイパーターミナルを起動します。(Windows XP の場合)
[スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [通信] – [ハイパーターミナル]

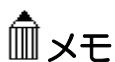
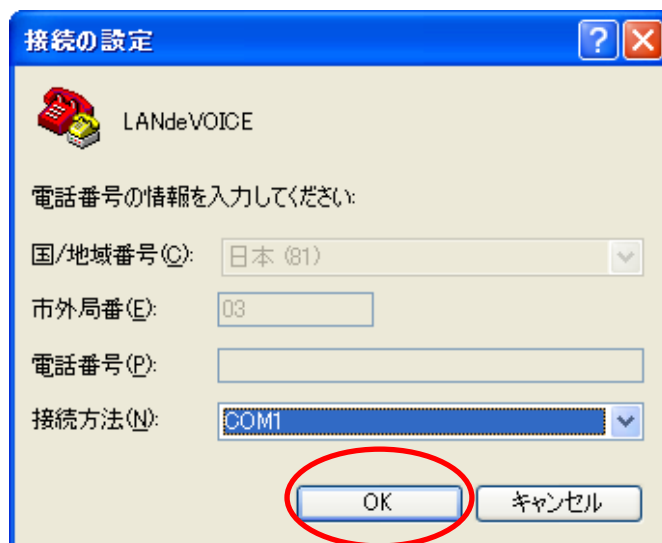


(上図は WindowsXP の画面です)

- 2 新しい接続の設定で名前とアイコンを指定します。
例では名前(N): LANdeVOICE
アイコンは「電話アイコン」を指定します。



- 3 接続の設定で接続方法を指定します。
画像はパソコンの COM ポートに接続されているため、「COM1」を指定しています。



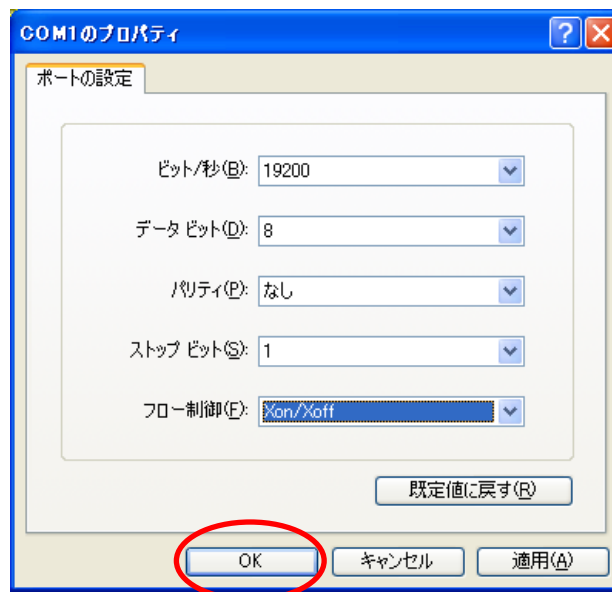
メモ COMポートについて

パソコンによっては COM1 ポート以外に COM2 ポートなど複数の COM ポートがある場合があります。

[マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャー]-[ポート(COMとLPT)]にて、COMポートをご確認ください。

4 ポートの設定を以下のように指定します。

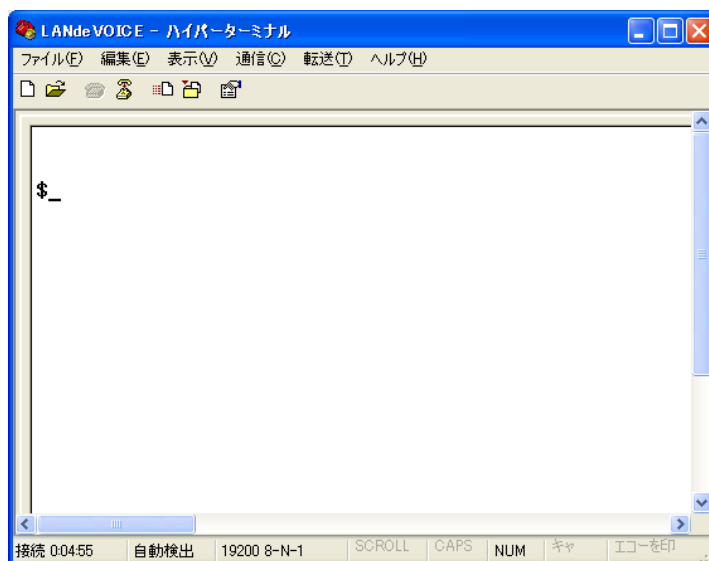
ビット/秒(B)	19200
データ ビット(D)	8
パリティ(P)	なし
ストップ ビット(S)	1
フロー制御(F)	Xon/Xoff



5 ハイパーターミナルの画面が表示されます。

[Enter]キーを押して、「\$」が返ってくるか、確認をしてください。

- ・本商品の LED が正常な状態か確認をしてください。
- ・\$プロンプトが返ってくれば、正常に通信ができています。



4.3 ハイパーターミナルの設定を保存する

- 1 設定した情報を保存します。
メニューバー[ファイル] – [名前を付けて保存]を選択し、ファイル名を付けて保存します。
ファイル名:LANdeVOICE と名前を付けて保存します。

次回設定時は、ハイパーターミナルのメニューバーから設定を開くことができます。
[ファイル] – [開く] – [LANdeVOICE.ht]を指定して、設定を開くことができます。

4.4 ハイパーターミナルを終了する

- 1 ハイパーターミナル画面上の右上の「×」ボタンを押して終了します。

第5章 設定の手順

この章では、本商品を使用した設定の手順を説明します。

5.1	設定ファイルについて	20
5.2	ネットワークの基本設定をする	21
5.2.1	基本設定を確認する	21
5.2.2	基本設定を変更する (コマンド入力での変更モードに入る)	22
5.2.3	IP アドレスを設定する	22
5.2.4	デフォルトゲートウェイの IP アドレスの設定をする ..	24
5.2.5	変更モードを終了します	25
5.2.6	設定を有効にします	25
5.2.7	ポート番号について	26
5.2.8	基本設定を変更する(設定ファイルからの変更) ...	27
5.3	システム設定をする	31
5.3.1	システム設定の情報を確認する	31
5.3.2	システム設定を変更する	32
5.4	電話番号ファイルの設定について	36
5.4.1	電話番号ファイルの設定情報を確認する	36
5.4.2	電話番号ファイルの設定情報を変更する	37

5.1 設定ファイルについて

本商品は、商品内部に設定ファイルを持っています。設定ファイルには以下の3つのファイルがあります。実際に使用する環境や用途に合わせて設定を行ってください。

ネットワーク設定 ファイル	ファイル名	netcnfg.ini
	ファイル名の 読み方	ネットコンフィグイニ
	説明	本商品のネットワークに関する設定
	確認するための コマンド	netcnfg
	設定方法	1つ目の方法:コマンドで直接、書き換え 2つ目の方法:メモ帳でファイルを作成
システム設定 ファイル	ファイル名	syscnfg.ini
	ファイル名の 読み方	シスコンフィグイニ
	説明	システム(放送)に関する設定 放送開始や終了音の設定などを行います
	確認するための コマンド	type syscnfg.ini
	設定方法	メモ帳でファイルを作成
電話番号設定 ファイル	ファイル名	phone.tbl
	ファイル名の 読み方	フォンテーブル
	説明	放送の優先順位を設定
	確認するための コマンド	phone (実際に有効になっている情報の確認) type phone.tbl (設定した内容の確認)
	設定方法	メモ帳でファイルを作成

5.2 ネットワークの基本設定をする

本商品をネットワークに接続し利用するための基本設定について説明します。

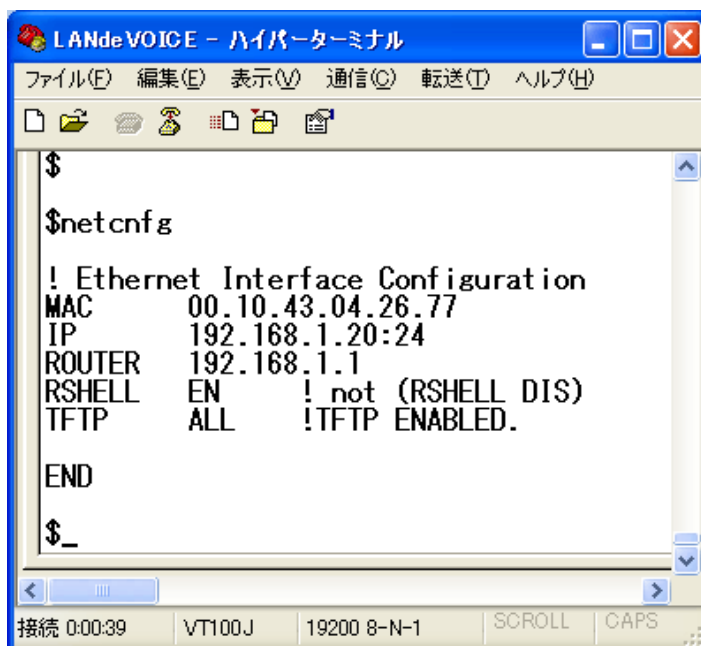
5.2.1 基本設定を確認する

- 1 ハイパーターミナルを起動します (P15)
本商品とパソコンをシリアルケーブルで接続し、ハイパーターミナルを起動します。
ハイパーターミナルの画面上に\$プロンプトが表示されていることを確認してください。

 **注意** LEDの点灯を確認してください

コマンドを入力するとき・設定変更時は必ず本体フロントパネルのLEDが待機時状態になっていることを確認してから行ってください。(P9)
待機時状態以外でコマンド入力すると故障の原因となることがあります。

- 2 \$の後に「netcnfg (半角文字)」と入力し[enter]キーを押します。
『netcnfg』…現在設定されているネットワーク情報を確認するためのコマンドです
- 3 ハイパーターミナルの画面上に、既に設定されている本商品の基本設定が表示されます。
基本設定の詳細は「付録1 netcnfg.ini パラメーター一覧(P50)」を参照してください。



```
LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(O) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$netcnfg

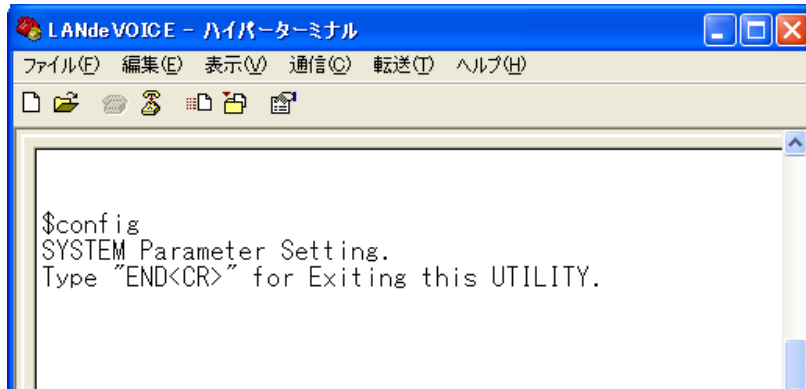
! Ethernet Interface Configuration
MAC      00.10.43.04.26.77
IP       192.168.1.20:24
ROUTER   192.168.1.1
RSHELL   EN      ! not (RSHELL DIS)
TFTP     ALL     !TFTP ENABLED.

END

$_
```

5.2.2 基本設定を変更する（コマンド入力での変更モードに入る）

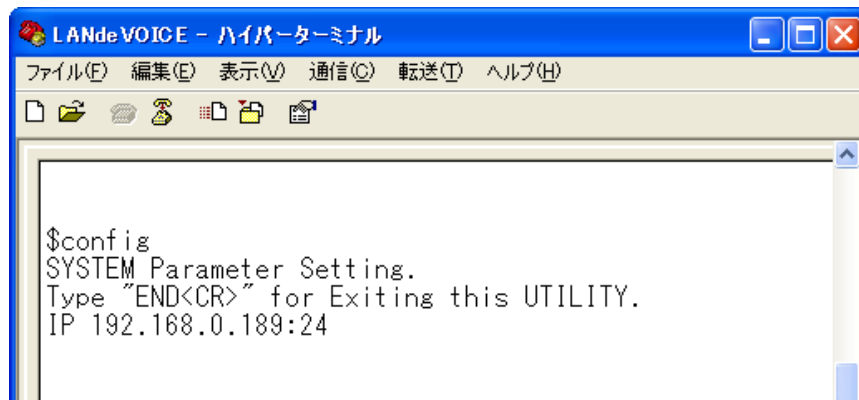
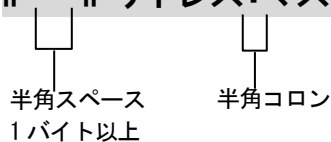
- 1 ハイパーターミナルを起動します(P15)
- 2 \$の後に config(半角文字) と入力[enter]キーを入力します。
入力モードに入ります。



5.2.3 IP アドレスを設定する

- 1 お使いのネットワークに合わせて、本商品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。数字と数字の間は、「.」(ピリオド)で区切ってください。

IP IP アドレス:マスクビット (例) IP 192.168.0.189:24



■本商品に設定可能なマスクビットです。マスクビット半角コロンの後に指定してください。

マスクビット	サブネットマスク
8	255.0.0.0
16	255.255.0.0
24	255.255.255.0
25	255.255.255.128
26	255.255.255.192
27	255.255.255.224
28	255.255.255.240
29	255.255.255.248
30	255.255.255.252

 **注意** ネットワーク設定について

IP アドレスは、ネットワークに合わせて設定をします。変更をする時は、お客様のネットワーク管理者にお問合せの上、行ってください。他の機器と IP アドレス等が二重に登録された場合はお互いに動作不良を起こすことがあります。

5.2.4 デフォルトゲートウェイの IP アドレスの設定をする(必要)

- 1 お使いのネットワークに合わせて、本商品へ Gateway(デフォルトゲートウェイ)の IP アドレスを設定します。
デフォルトゲートウェイがない場合でも、放送を行うには必ず必要な設定になります。適当な値で良いので設定を行ってください。
同じセグメントで放送を行う場合、デフォルトゲートウェイ機器の設定は不要です。

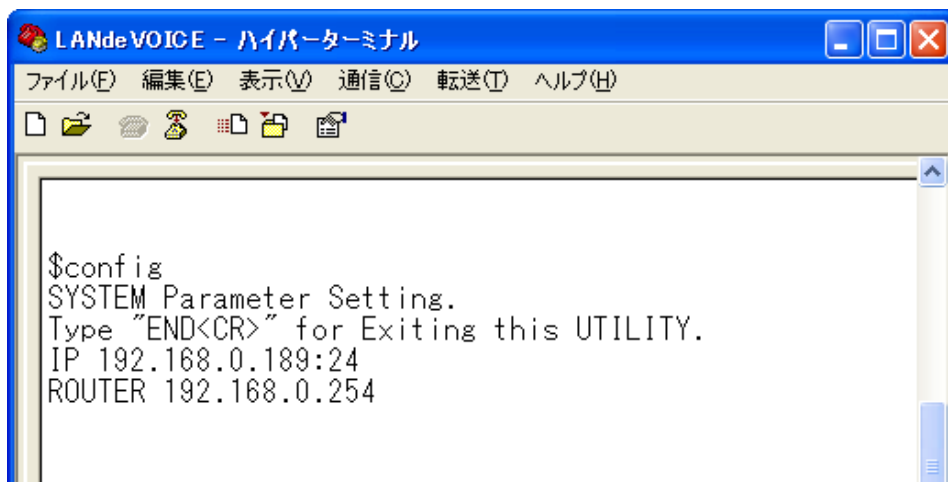
ROUTER IP アドレス(ルータの IP アドレス) (例) ROUTER 192.168.0.254

□
半角スペース
1バイト以上

設定を削除する場合の設定

ROUTER 255.255.255.255 (例) ROUTER 192.168.0.254

□
半角スペース
1バイト以上

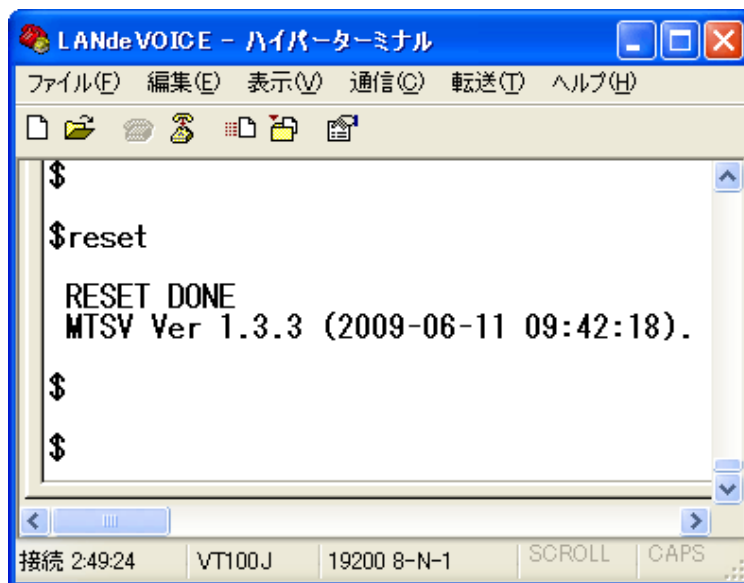


5.2.5 変更モードを終了します

- 1 ハイパーターミナル上で「 END 」と入力し、[enter]キーを押します。
変更モードが終了し、\$プロンプトが表示されます。

5.2.6 設定を有効にします

- 1 ハイパーターミナルの「 \$ 」の後に「 reset 」と入力し、
[enter]キーを押します。



- 2 設定が変更されているか設定内容を確認します。
(確認方法 P21 5.2.1 基本設定を確認する)

メモ バックアップを取ってください。(推奨)

何らかの原因で本商品内の設定ファイルが破損してしまった場合、再度ファイルの作成が必要となることがあります。
お客様がご利用になる環境にあわせて作成した設定ファイルは、CD-R などの媒体にバックアップを取ってください。

5.2.7 ポート番号について

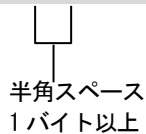
本商品を使用する上で、重要になる設定です。
放送元端末や放送先端末(放送に関係する端末)の phone.ini に関係してきます。

■ ポート番号について

◆呼制御用ポート番号

呼制御用ポート番号とは、呼の制御を行うために本商品が IP ネットワーク上で通信用に使用する UDP ポート番号(サービス番号)のことをいいます。
出荷時には、4445 が設定されています。

CCH **ポート番号** (例) CCH 4445



<本商品で使用する UDP ポート (初期設定時)>

・呼制御用 4445

■ デフォルトゲートウェイへの設定

ポートフォワーディング(IP マスカレード)機能を使用する場合は、CCH で指定したポート番号を設定して下さい。
(※4445 を設定してください)

5.2.8 基本設定を変更する（設定ファイルからの変更）

本商品に設定されている内容をもとに、設定ファイルを作成し設定を変更します。

1 ハイパーターミナルを起動します(P15)

2 基本設定の内容を確認します

\$の後に「netcnfg（半角文字）」と入力し[enter]キーを押します。

『netcnfg』…現在設定されているネットワーク情報を確認するためのコマンドです

3 表示内容をコピーします。

①「IP」から「END」までをマウスカーソルをドラッグして選択します。

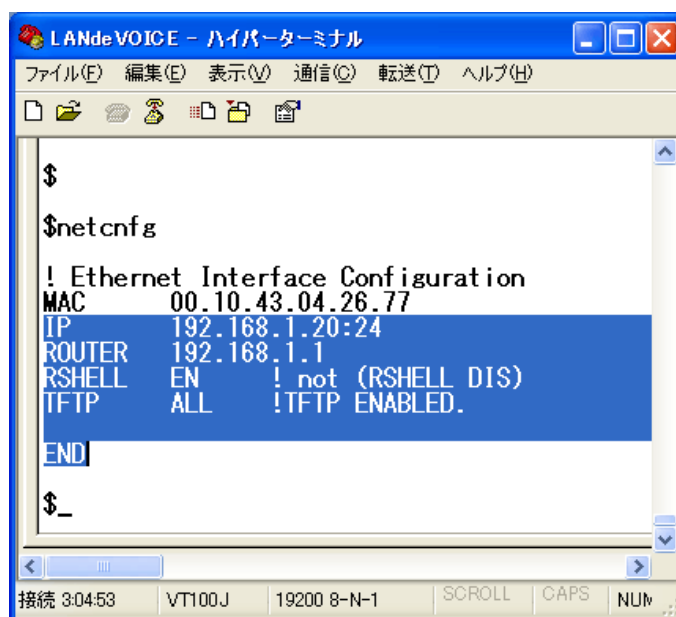
②ハイパーターミナルのメニューバーの[編集]-[コピー]をクリックします。

注意 コピーの際、次のことにご注意ください。

・「\$netcnfg」より下 2 行(!から始まっている行と MAC アドレス)は変更不可能です。コピーをしないでください。(この 2 行は自動で表示されます)

・「 \$ 」は選択・コピーをしないでください。

「 \$ 」が含まれているファイルは正しく認識されず、エラーの原因になります



4 コピーした内容をメモ帳へ貼り付けます。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳]を開きます。

[メモ帳]のメニューバーの[編集]-[貼り付け]を実行します。

5 設定内容を編集します。

<編集ルール>

- 1 行目に「DEF」と入力してください。
- 最後の行に「END」と入力してください。END の行以降は本商品に読み込みません。
- パラメーターと設定値は必ず 1 行で記入してください。複数の行にまたがることは、できません。
- パラメーターや設定値は、半角文字で入力してください。
- スペースは、半角スペースを挿入してください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「！」がコメント文開始のコマンドです。コメントは全角文字や半角文字の使用が可能です。ただし、直接変更する方法で変更した場合は、コメントの記入はできません。自動でコメントが挿入されている表示がありますが、そのコメントは自動で記載されているため、変更はできません。

<記述例>

パラメーター 設定値

半角スペース
1バイト以上

<基本設定ファイルの作成例>

```
DEF
IP          192.168.1.63:24
ROUTER      192.168.1.1
CCH         4445
RSHELL      EN      !not(REHSLL DIS)
TFTP        ALL     !TFTP ENABLED.
END
```

6 名前を付けて保存します。

「メモ帳」メニューバーの「ファイル」-「名前を付けて保存」を実行します。

ファイル名:『 netcnfg.ini 』(半角小文字)

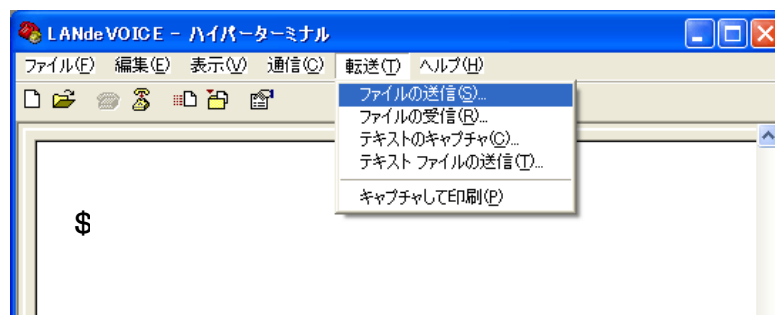
ファイルの種類:すべてのファイル

文字コード:ANSI (文字コードが指定できない場合もあります)

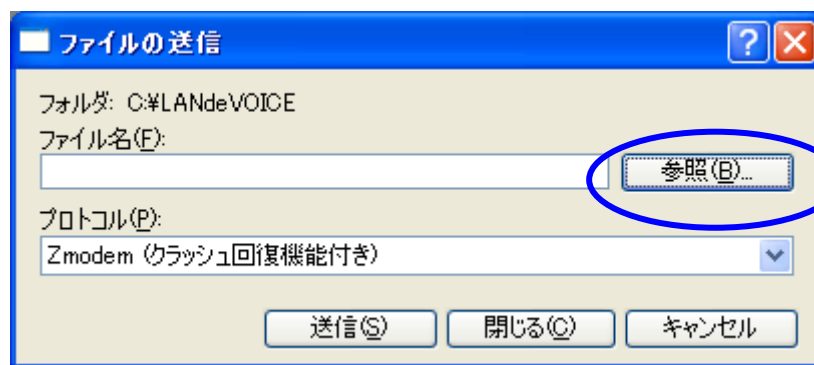
拡張子が[.ini]になっているかご確認ください。[.txt]では本商品が認識しません。拡張子が表示されていない場合は、フォルダオプションから拡張子を表示してください。

7 本商品に送る netcnfg.ini ファイルを送信します。

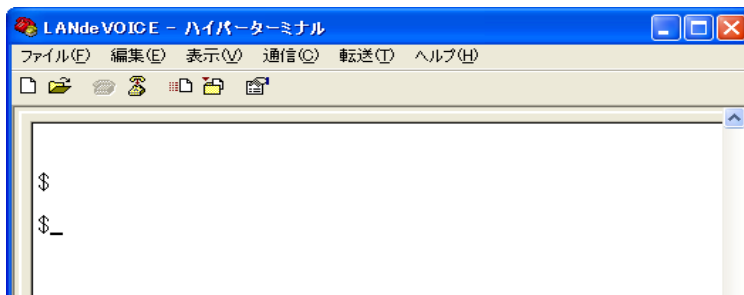
ハイパーターミナルのメニューバーの[転送]－[ファイルの送信]を実行します。



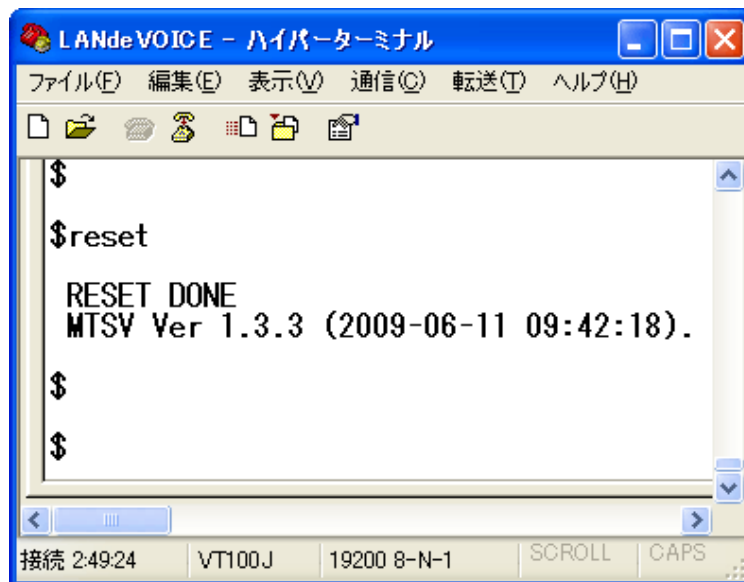
『ファイルの送信』ダイアログボックスの[参照]ボタンを押して、
『 netcnfg.ini 』ファイルを指定します。



- 8 送信するファイル名を確認してファイルを送ります。
 プロトコル(P): Zmodem(クラッシュ回復機能付き)を指定して「送信」ボタンを押します。
- 9 ハイパーターミナルの画面上に「\$」が表示されるのを確認してください。



- 10 ハイパーターミナル画面上の「\$」の後に、「reset」と入力し、[enter]キーを入力します。設定が反映されます。



- 11 設定が変更されているか、設定内容を確認してください
 (確認方法 P21 5.2.1 基本設定を確認する)



メモ バックアップを取ってください。(推奨)

何らかの原因で本商品内の設定ファイルが破損してしまった場合、再度ファイルの作成が必要となることがあります。作成した設定ファイルは、CD-R などの媒体にバックアップを取ってください。

5.3 システム設定をする

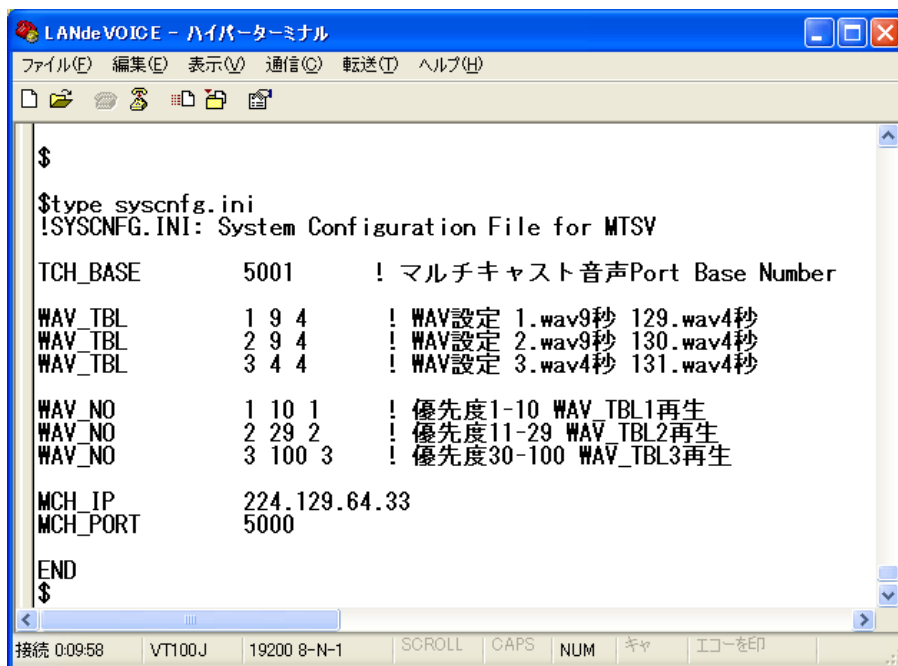
5.3.1 システム設定の情報を確認する

- 1 ハイパーターミナルを起動します(P15)
- 2 「\$」の後に、「type <半角スペース> syscnfg.ini」(半角文字)と入力し、[enter]キーを押します。
『type syscnfg.ini』・・・システム設定情報を確認するためのコマンドです。

注意 LEDの点灯を確認してください

\$プロンプトにてコマンドを入力するときは、必ず本体フロントパネルのLEDが待機時状態になっていることを確認してから行ってください。(P9)
LEDが緑色点灯していない状態でコマンド入力すると故障の原因となることがあります。

- 3 内容が表示されます
既に設定されている本商品のシステム設定情報が表示されます。
画面に表示しきれないときは縦スクロールで確認することができます。



```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$type syscnfg.ini
!SYSCNFG.INI: System Configuration File for MTSV
TCH_BASE      5001      ! マルチキャスト音声Port Base Number
WAV_TBL       1 9 4      ! WAV設定 1.wav9秒 129.wav4秒
WAV_TBL       2 9 4      ! WAV設定 2.wav9秒 130.wav4秒
WAV_TBL       3 4 4      ! WAV設定 3.wav4秒 131.wav4秒
WAV_NO        1 10 1      ! 優先度1-10 WAV_TBL1再生
WAV_NO        2 29 2      ! 優先度11-29 WAV_TBL2再生
WAV_NO        3 100 3     ! 優先度30-100 WAV_TBL3再生
MCH_IP        224.129.64.33
MCH_PORT      5000
END
$
接続 0:09:58 VT100J 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印

```

5.3.2 システム設定を変更する

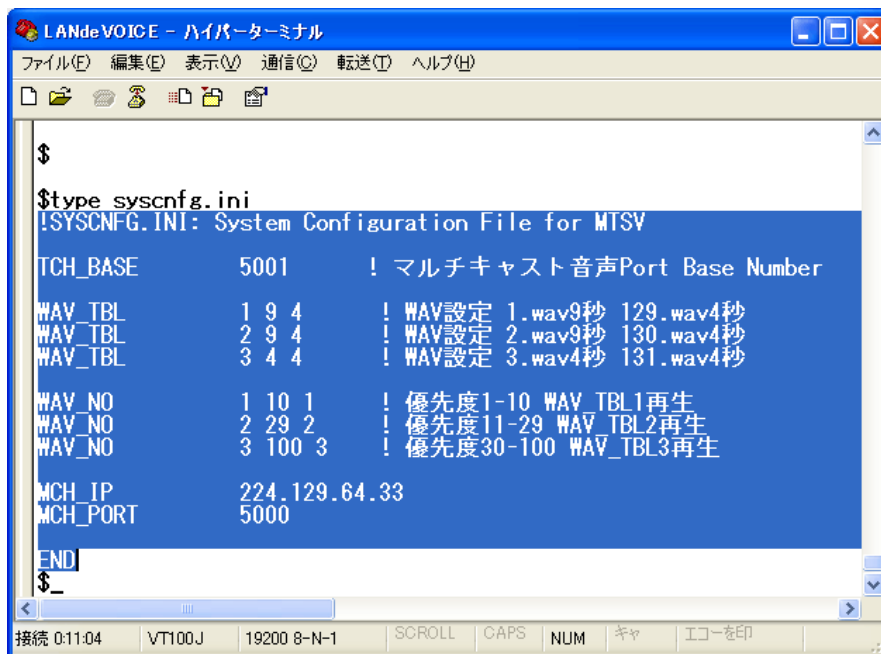
本商品に設定されている内容をもとに、設定ファイルを作成し設定を変更します。

- 1 ハイパーターミナルを起動します(P15)
- 2 「\$」の後に、「type <半角スペース>syscnfg.ini」(半角文字)と入力し、[enter]キーを押します。
『type syscnfg.ini』・・・システム設定情報を確認するためのコマンドです。
- 3 表示内容をコピーします。
 - ①「\$」の下から最後の行までをマウスカーソルをドラッグして選択します。
 - ②ハイパーターミナルのメニューバーの[編集]-[コピー]をクリックします。

 **注意** コピーの際、次のことにご注意ください。

「\$」は選択・コピーをしないでください。

「\$」が含まれているファイルは正しく認識されず、エラーの原因になります。



```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$type syscnfg.ini
!SYSNCFG.INI: System Configuration File for MTSV
TCH_BASE      5001      ! マルチキャスト音声Port Base Number
WAV_TBL       1 9 4      ! WAV設定 1.wav9秒 129.wav4秒
WAV_TBL       2 9 4      ! WAV設定 2.wav9秒 130.wav4秒
WAV_TBL       3 4 4      ! WAV設定 3.wav4秒 131.wav4秒
WAV_NO        1 10 1      ! 優先度1-10 WAV_TBL1再生
WAV_NO        2 29 2      ! 優先度11-29 WAV_TBL2再生
WAV_NO        3 100 3     ! 優先度30-100 WAV_TBL3再生
MCH_IP        224.129.64.33
MCH_PORT      5000
END
$_

```

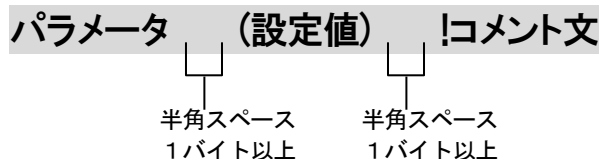
- 4 コピーした内容をメモ帳に貼り付けます。
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳]を開きます。
[メモ帳]のメニューバーの[編集]-[貼り付け]を実行します。

5 設定内容を編集します。

<編集ルール>

- パラメーターと設定値は必ず 1 行で記入してください。
複数の行にまたがることは、できません。
- パラメーターや設定値は、半角文字で入力してください。
- スペースは、半角スペースを挿入してください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「！」がコメント文開始のコマンドです。コメントは全角文字や半角文字の使用が可能です。ただし、直接変更する方法で変更した場合は、コメントの記入はできません。自動でコメントが挿入されている表示がありますが、そのコメントは自動で記載されているため、変更はできません。

<記述例>



<システム設定ファイルの作成例>

```

!MTSV syscnfg.ini
SUPPORT      123
TCH_BASE     5001  ! マルチキャスト音声 Port Base Number
WAV_TBL      1 9 4  ! 国民保護法音
WAV_TBL      2 9 4  ! サイレン音
WAV_TBL      3 4 4  ! チャイム音
WAV_NO       1 10 1 ! 優先度 1-10   WAV_TBL 1 参照
WAV_NO       2 29 2 ! 優先度 11-29  WAV_TBL 2 参照
WAV_NO       3 100 3 ! 優先度 30-100 WAV_TBL3 参照
MCH_IP       224.129.64.33  ! マルチキャスト IP アドレス設定
MCH_PORT     5000  ! マルチキャスト呼制御 PORT 番号設定
END
    
```

作成例において、『!』から始まる行はコメントのため、設定は無効です。しかし、コメントアウトの状態に記述をしておくと、今後の設定の際は「！」を外したり付加することによって変更ができるので、変更しやすくなります。

6 名前を付けて保存します。

「メモ帳」メニューバーの「ファイル」-「名前を付けて保存」を実行します。

ファイル名:『 syscnfg.ini 』(半角小文字)

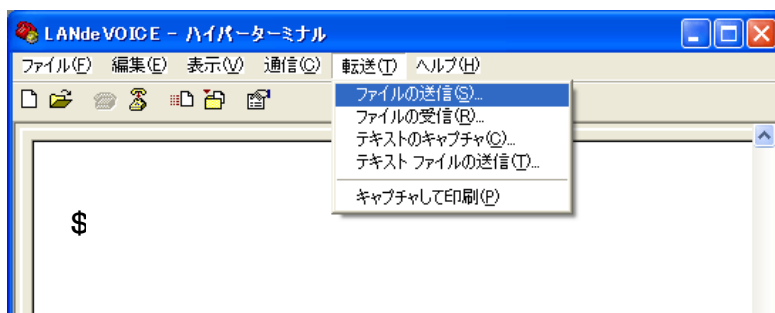
ファイルの種類: すべてのファイル

文字コード: ANSI (文字コードが指定できない場合もあります)

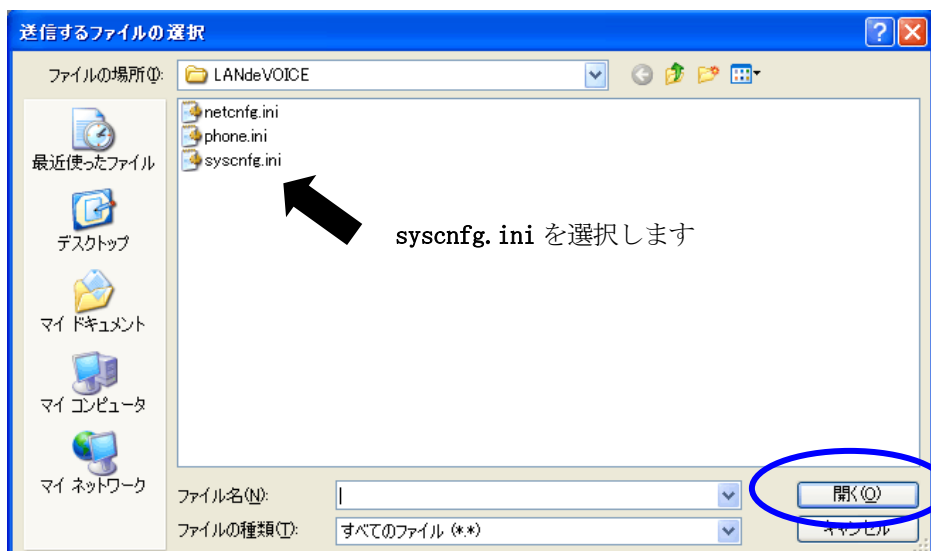
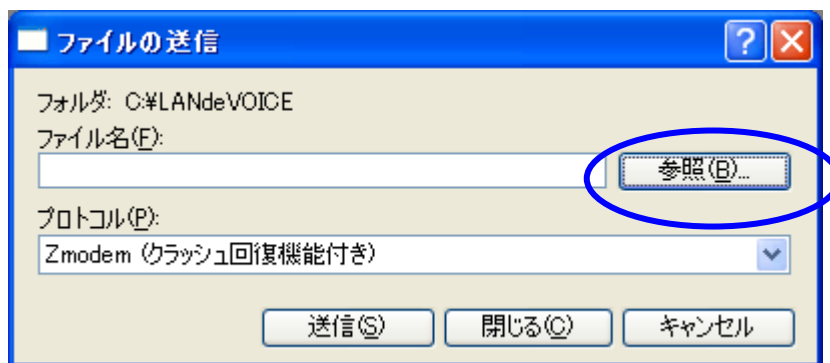
拡張子が[.ini]になっているかご確認ください。[.txt]では本商品が認識しません。
 拡張子が表示されていない場合は、フォルダオプションから拡張子を表示してください。

7 本商品に送る syscnfg.ini ファイルを送信します。

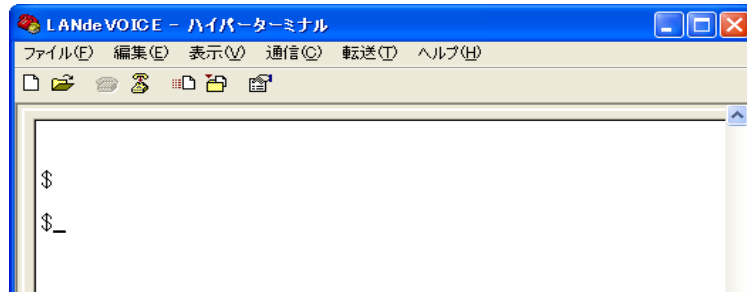
ハイパーターミナルのメニューバーの[転送]-[ファイルの送信]を実行します。



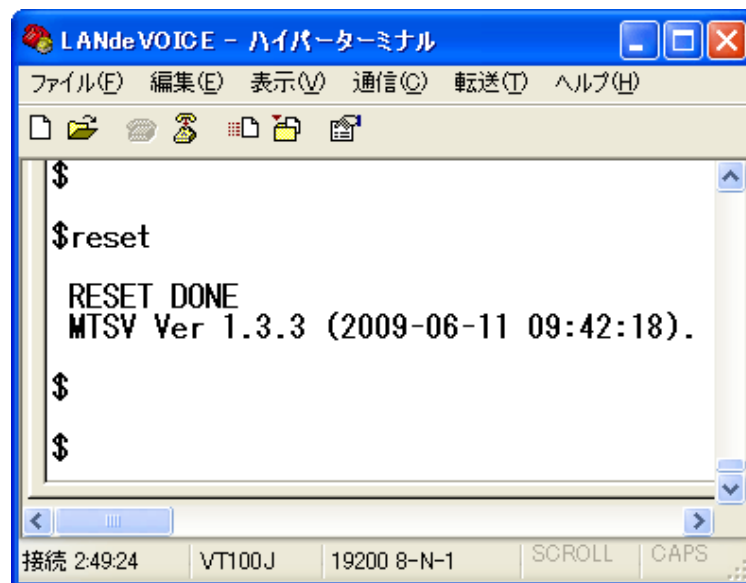
『ファイルの送信』ダイアログボックスの[参照]ボタンを押して、
 『 syscnfg.ini 』ファイルを指定します。



- 8 送信するファイル名を確認してファイルを送ります。
プロトコル(P): Zmodem(クラッシュ回復機能付き)を指定して「送信」ボタンを押します。
- 9 ハイパーターミナルの画面上に「\$」が表示されるのを確認してください。



- 10 ハイパーターミナル画面上の「\$」の後に、「reset」と入力し、[enter]キーを入力します。設定が反映されます。



- 11 設定が変更されているか、設定内容を確認してください
(確認方法 P31 5.3.1 システム設定の情報を確認する)

 **メモ** バックアップを取ってください。(推奨)

何らかの原因で本商品内の設定ファイルが破損してしまった場合、再度ファイルの作成が必要となることがあります。作成した設定ファイルは、CD-R などの媒体にバックアップを取ってください。

5.4 電話番号ファイルの設定について

本商品に登録する電話番号帳になります。放送の際に必要な設定です。

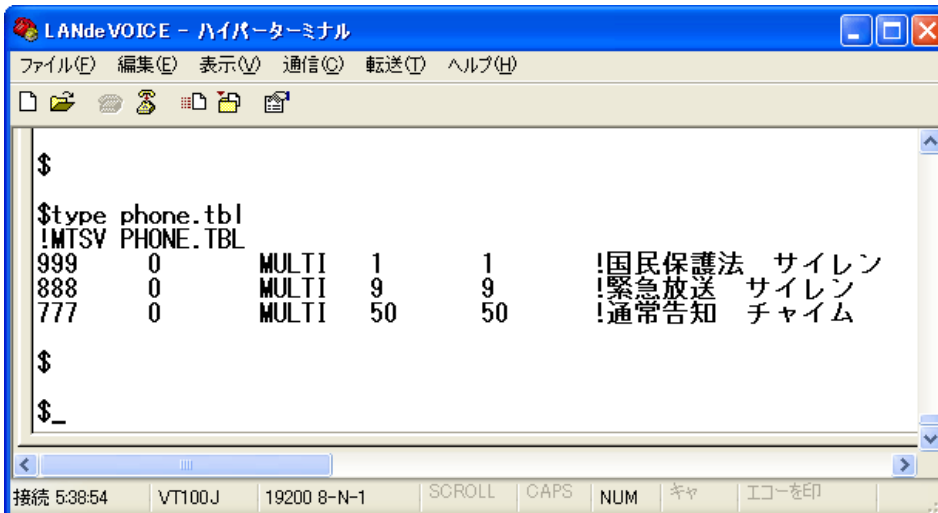
5.4.1 電話番号ファイルの設定情報を確認する

- 1 ハイパーターミナルを起動します(P15)
- 2 「\$」の後に、「type<半角スペース>phone.tbl」(半角文字)と入力し、
[enter]キーを押します。
『type phone.tbl』・・・電話番号ファイルの設定情報を確認するためのコマンドです。

注意 LEDの点灯を確認してください

\$プロンプトにてコマンドを入力するときは、必ず本体フロントパネルのLEDが待機時状態になっていることを確認してから行ってください。(P9)
LEDが緑色点灯していない状態でコマンド入力すると故障の原因となることがあります。

- 3 内容が表示されます
既に設定されている本商品の電話番号ファイルの設定情報が表示されます。
画面に表示しきれないときは縦スクロールで確認することができます。



```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$type phone.tbl
!MTSV PHONE.TBL
999 0 MULTI 1 1 !国民保護法 サイレン
888 0 MULTI 9 9 !緊急放送 サイレン
777 0 MULTI 50 50 !通常告知 チャイム
$
$_


```

接続 5:38:54 VT100J 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印

5.4.2 電話番号ファイルの設定情報を変更する

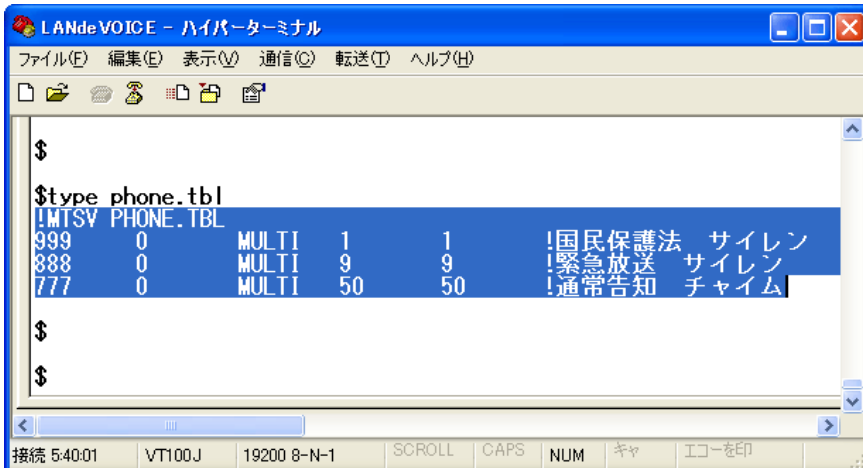
本商品に設定されている内容をもとに、設定ファイルを作成し設定を変更します。

- 1 ハイパーターミナルを起動します(P15)
- 2 「\$」の後に、「type<半角スペース>phone.tbl」(半角文字)と入力し、
[enter]キーを押します。
『type phone.tbl』・・・電話番号ファイルの設定情報を確認するためのコマンドです。
- 3 表示内容をコピーします。
 - ①「\$」の下の行から最後の行までをマウスカーソルをドラッグして選択します。
 - ②ハイパーターミナルのメニューバーの[編集]-[コピー]をクリックします。

 **注意** コピーの際、次のことにご注意ください。

「\$」は選択・コピーをしないでください。

「\$」が含まれているファイルは正しく認識されず、エラーの原因になります。



```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$type phone.tbl
!MITSY PHONE.TBL
999 0 MULTI 1 1 !国民保護法 サイレン
888 0 MULTI 9 9 !緊急放送 サイレン
777 0 MULTI 50 50 !通常告知 チャイム
$
$

```

接続 5:40:01 VT100J 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印

- 4 コピーした内容をメモ帳に貼り付けます。
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳]を開きます。
[メモ帳]のメニューバーの[編集]-[貼り付け]を実行します。

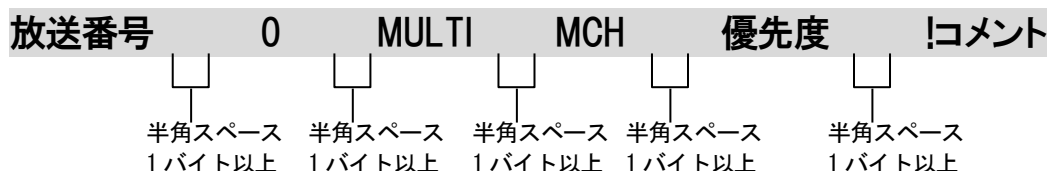
5 設定内容を編集します。

<編集ルール>

- 放送番号や放送チャンネル、優先度は必ず 1 行で記入してください。複数の行にまたがることは、できません。
- 設定は、半角文字で入力してください。
- スペースは、半角スペースを挿入してください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「！」がコメント文開始のコマンドです。コメントは全角文字や半角文字の使用が可能です。「！」が付いている行は、設定が無効です。
- 任意の数字(最大 23 桁)により、放送番号を設定できます。
- 放送番号が重複して登録されていた場合
上位に記述されている番号が優先されます。
発信元が放送開始時に、ダイヤルされた番号順に1桁ずつ、ファイルの先頭から順番に検索し、一致したテーブルがあると、その時点でテーブル検索を終了し、放送を開始します。

設定項目	解説
放送番号	半角数字で指定します。(1 桁から最大 23 桁まで)
シリアル番号	0 を設定します。
MULTI	MULTI と設定します。
MCH	マルチキャストの放送チャンネルを指定します。 1~255 チャンネル設定可能です。 受信端末の受信チャンネルの番号になります。
優先度	1~255 までの優先度を設定します。 1 が最優先になり、次に 2、3 と優先度が下がります。 一番優先が低い放送は 255 の放送になります。 優先度が低い同報が行われている際に優先度の高い放送が放送されると、優先度の高い同報が優先して放送されます。

<記述例>



＜電話番号ファイルの作成例＞

999	0	MULTI	1	1	!緊急放送
888	0	MULTI	20	20	!サイレン
777	0	MULTI	50	30	!通常放送

◆解説

1 行目・・・ダイヤル「999」で開始される優先度が 1 の緊急放送の設定です。放送番号「999」を受信したい端末は、受信チャンネル「1」を登録します。

2 行目・・・ダイヤル「888」で開始される優先度が 20 のサイレンの放送です。放送番号「888」を受信したい端末は、受信チャンネル「20」を設定します。「888」の放送を行っている際に、「999」の放送があると、「999」の放送の方が優先度が高いため、「999」の放送が優先的に放送されます。「999」の放送が終わると、引き続き「888」の放送が流れます。

3 行目・・・ダイヤル「777」で開始される優先度が 30 のサイレンの放送です。放送番号「777」を受信したい端末は、受信チャンネル「50」を設定します。「777」の放送を行っている際に、「888」の放送があると、「888」の放送の方が優先度が高いため、「888」の放送が優先的に放送されますが、さらに「999」の放送があると「999」が一番優先度が高いため、「999」の放送が流れます。「999」の放送が終わると、引き続き「888」もしくは「777」の放送が流れます。

※コメントについて・・・

このコメントは syscnfg.ini の設定に関連しています。

syscnfg.ini には優先度によって開始音を流し分ける為の設定項目がありません。

また開始音には緊急性を表現した音源と、通常用の音源など、用途に合わせて用意されています。

この syscnfg.ini の開始音の設定によって phone.tbl においてもコメントを利用し、「緊急放送」か「通常放送」等、放送種別が分かるように記載しておくとう便利です。

6 名前を付けて保存します。

「メモ帳」メニューバーの「ファイル」-「名前を付けて保存」を実行します。

ファイル名: 『 phone.tbl 』(半角小文字)

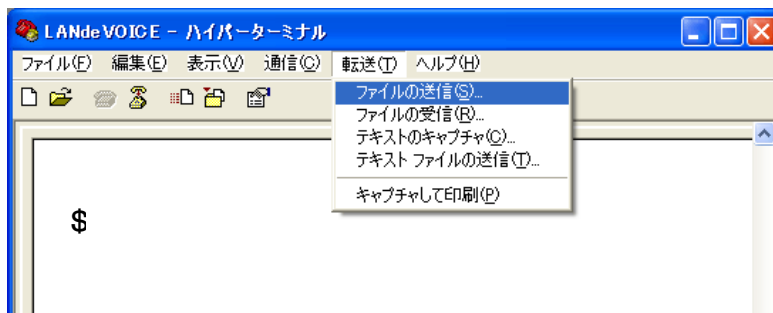
ファイルの種類: すべてのファイル

文字コード: ANSI (文字コードが指定できない場合もあります)

拡張子が[.ini]になっているかご確認ください。[.txt]では本商品が認識しません。
 拡張子が表示されていない場合は、フォルダオプションから拡張子を表示してください。

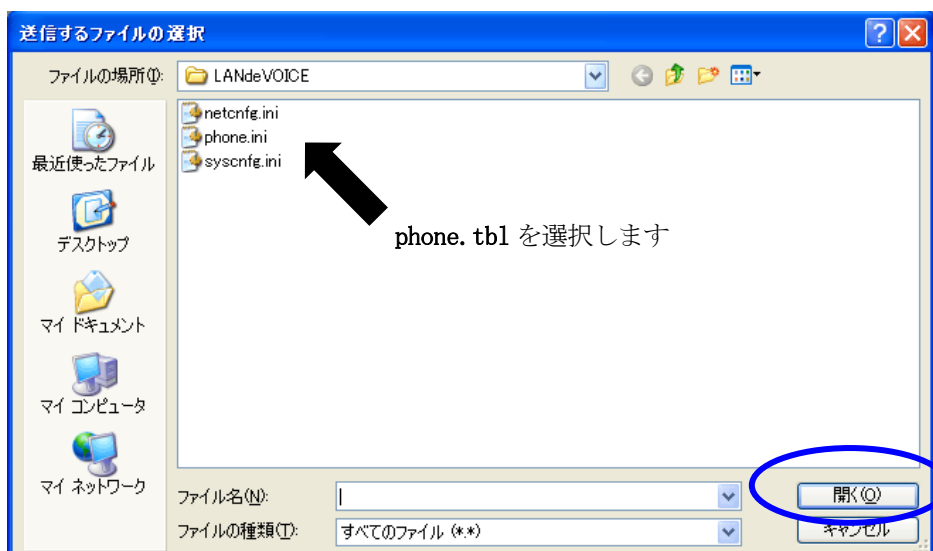
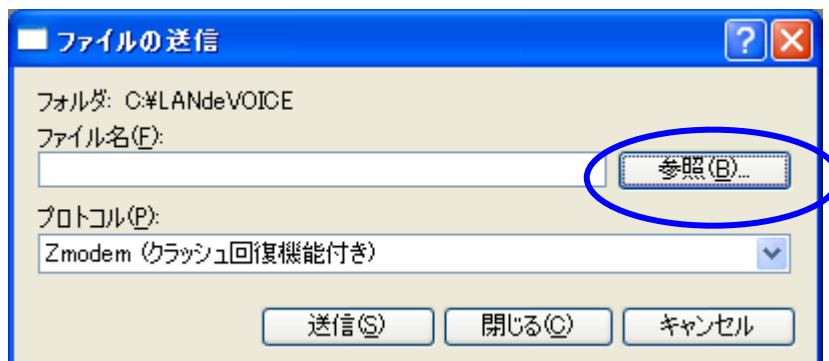
7 本商品に送る phone.tbl ファイルを送信します。

ハイパーターミナルのメニューバーの[転送]-[ファイルの送信]を実行します。

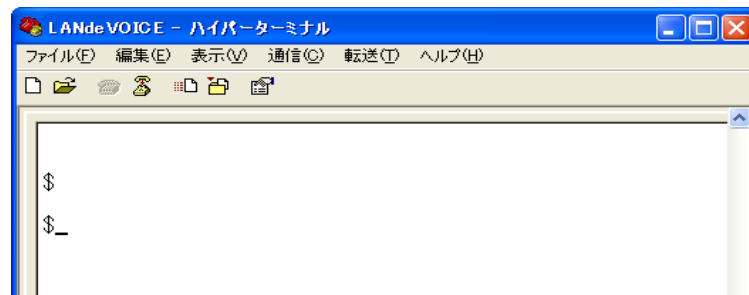


『ファイルの送信』ダイアログボックスの[参照]ボタンを押して、

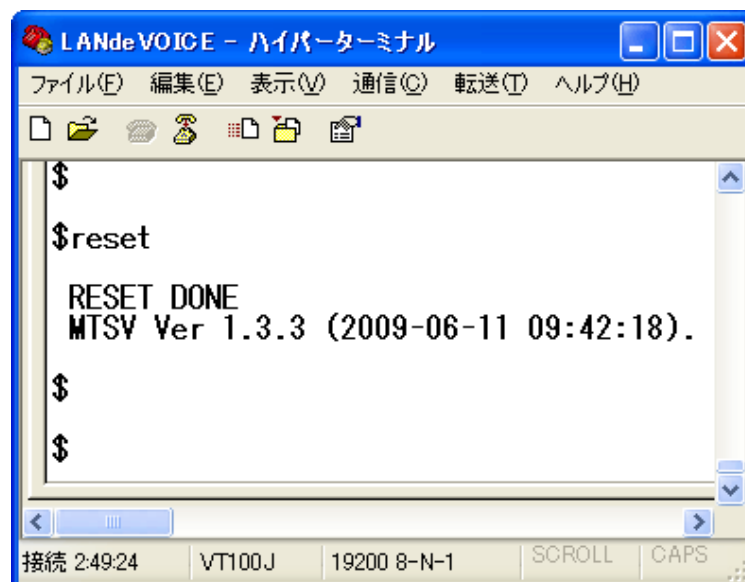
『 phone.tbl 』ファイルを指定します。



- 8 送信するファイル名を確認してファイルを送ります。
プロトコル(P):Zmodem(クラッシュ回復機能付き)を指定して「送信」ボタンを押します。
- 9 ハイパーターミナルの画面上に「\$」が表示されるのを確認してください。



- 10 ハイパーターミナル画面上の「\$」の後に、「reset」と入力し、[enter]キーを入力します。設定が反映されます。



- 11 設定が変更されているか、設定内容を確認してください
(確認方法 P36 5.4.1 電話番号ファイルの設定情報を確認する)

 **メモ** バックアップを取ってください。(推奨)

何らかの原因で本商品内の設定ファイルが破損してしまった場合、再度ファイルの作成が必要となることがあります。作成した設定ファイルは、CD-R などの媒体にバックアップを取ってください。

第6章 マルチキャスト放送端末の設定

放送に関係する端末の設定を行います

6.1	マルチキャスト放送設定のポイント	43
6.2	放送発信元の設定	43
6.3	放送受信チャンネルの設定	44
6.4	呼制御サーバー(CPS8 または CPSV)がある場合の設定	46

6.1 マルチキャスト放送設定のポイント

マルチキャスト放送を行う際は、以下の点に注意して設定をしてください。
各商品ごとの設定方法については、商品別の取扱説明書をご参照ください。
※放送発信元になり、放送を受信する場合には、設定が必要になります。

- 1 本商品と放送受信 LANdeVOICE のデフォルトゲートウェイの設定
netcnfg.ini の「ROUTER」の設定を行ってください。
デフォルトゲートウェイがない場合でも、設定が必要になります。
※デフォルトゲートウェイがない場合は、適当な値を設定してください。
例) router 192.168.1.1
- 2 マルチキャスト放送呼制御用 IP アドレスの設定
syscnfg.ini へ「MCH_IP」を設定します。放送を受信する LANdeVOICE も
本商品 (MTSV) と同じ設定にします。
例) MCH_IP 224.129.64.33
- 3 マルチキャスト放送呼制御用ポート番号の設定
syscnfg.ini へ「MCH_PORT」を設定します。放送を受信する LANdeVOICE も
本商品 (MTSV) と同じ設定にします。
例) MCH_PORT 5000

6.2 放送発信元の設定

放送発信元端末には、以下のような設定を行います。設定方法については、商品別の取扱説明書をご参照ください。

- 1 phone.ini の設定
放送発信元の電話番号ファイル (phone.ini) を設定する場合は、発信先の IP
アドレスを MTSV の IP アドレスに設定します。
※発信先が MTSV の IP アドレスになります。
例) 999 192.168.1.20:4445

6.3 放送受信チャンネルの設定

放送受信端末には、以下のような設定を行います。設定方法については、商品別の取扱説明書をご参照ください。

1 音声ファイルダウンロード

弊社(株式会社エイツー) サポートページより音声ファイルをダウンロードし放送開始音と終了音の音声ファイルをインストールしてください。
音声ファイルがインストールされていないと、放送開始音と終了音が無音になります。

株式会社エイツー サポートページ
<http://www.a-2.co.jp/support/pdf/files/setup.html>

2 放送受信設定

どの放送を受信するか設定を行います。
以下の手順に従い、放送受信設定を行ってください。

2-1 パソコンのメモ帳を開きます。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳]

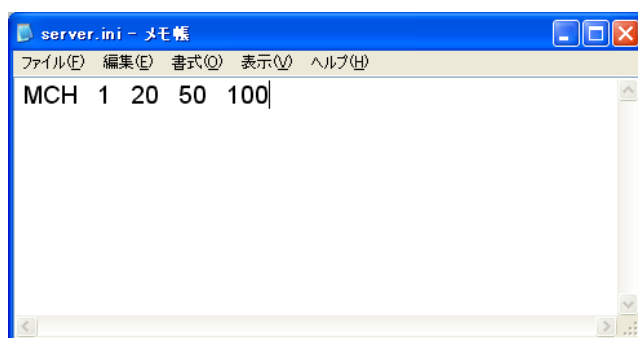
2-2 以下のように受信したい放送チャンネル(番号)を記入します。

放送チャンネルについては、本商品(MTSV)に登録した phone.tbl の MCH の値になります

MCHと各設定値の間は、半角スペースで間を空けてください。

<設定例>

MCH 1 20 50 100



<説明>

上記の設定にした場合、放送チャンネル 1、20、50、100 の放送があった場合、放送を受信します。

2-3 名前を付けて保存します。

「メモ帳」メニューバーの「ファイル」-「名前を付けて保存」を実行します。

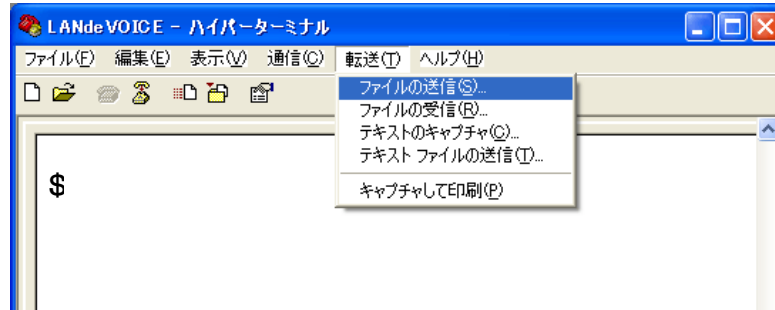
ファイル名: 『 server.ini 』(半角小文字)

ファイルの種類: すべてのファイル

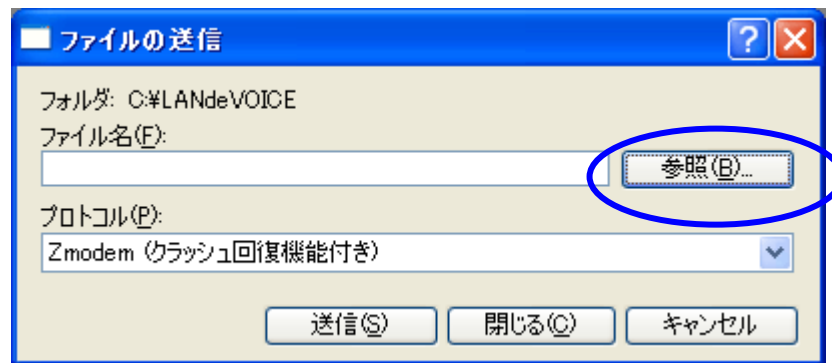
文字コード: ANSI (文字コードが指定できない場合もあります)

拡張子が[.ini]になっているかご確認ください。[.txt]では本商品が認識しません。拡張子が表示されていない場合は、フォルダオプションから拡張子を表示してください。

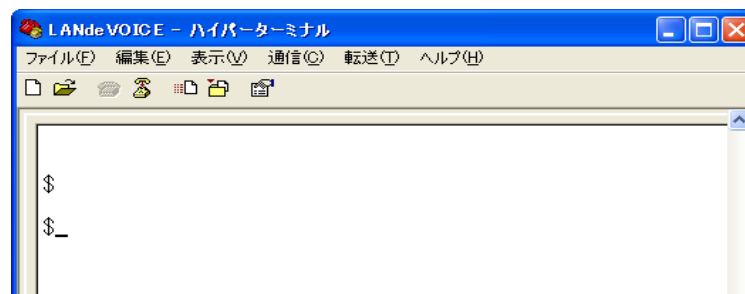
- 2-4 受信端末へ server.ini ファイルを送信します。
ハイパーターミナルのメニューバーの[転送]－[ファイルの送信]を実行します。



『ファイルの送信』ダイアログボックスの[参照]ボタンを押して、
『 server.ini 』ファイルを指定します。



- 2-5 送信するファイル名を確認してファイルを送ります。
プロトコル(P):Zmodem(クラッシュ回復機能付き)を指定して「送信」ボタンを押します。
- 2-6 ハイパーターミナルの画面上に「\$」が表示されるのを確認してください。



- 2-7 ハイパーターミナル画面上の「\$」の後に、「reset」と入力し、
[enter]キーを入力します。設定が反映されます。
- 2-8 ハイパーターミナル画面上の「\$」の後に、「type server.ini」と入力し、
設定が反映されているか確認をしてください。

6.4 呼制御サーバー(CPS8 または CPSV)がある場合の設定

呼制御サーバー(CPS8 または CPSV)がシステムに導入されている場合は、呼制御サーバー経由での放送を行うように設定をします。

- ・放送元端末の発信先指定(phone.ini)の宛先を呼制御サーバー宛のIPアドレスに設定をします。

- ・呼制御サーバーの電話帳ファイル(phone.tbl)に記載する放送時のIPアドレスの宛先を本商品(MTSV)のIPアドレスに設定をします。

放送元端末及び呼制御サーバーの設定については、商品別の取扱説明書をご参照ください。

放送元及び、放送受信端末のnetcnfg.iniファイルの「SERVER」のパラメーターについて、設定を呼制御サーバー(CPS8 または CPSV)のIPアドレスに設定をします。

第7章 放送方法

実際に放送を試してみましょう

7.1	放送方法	48
7.2	放送時の注意点	48
7.3	放送受信中の LED について	48

7.1 放送方法

試験放送を行う場合は、事前に放送受信端末の周囲の方に試験放送を行うことを通知してから行ってください。

放送パターン	放送方法
マイクからの放送	マイクが接続できるモデル(PBSP など)から放送を行います。 PBSP をご利用の場合は、S.SW を放送したい箇所へ合わせて放送を行います。
電話機からの放送	電話機が接続できるモデル(PB02 など)から放送番号をダイヤルします。
交換機からの放送	内線電話機から放送番号をダイヤルして放送を行います。

7.2 放送時の注意点

放送を行う際に、以下の機器をお使いのユーザー様はご注意ください。

レイヤー3スイッチをお使いのお客様は IGMP スヌーピングの設定をお願いします。

7.3 放送受信中の LED

放送受信端末は、放送受信中の LED の表示は、以下の通りです。

LED の色	状態
赤点灯	放送開始音再生中もしくは終了音再生中
橙点灯	放送中
緑点灯	待機状態(正常) ※機種によって、待機状態の LED が異なります。詳細については、該当の製品の取扱説明書をご確認ください

付 録

付録 1	netcnfg.ini に設定可能なパラメーター 一覧 …	50
付録 2	syscnfg.ini に設定可能なパラメーター 一覧 …	51
付録 3	コマンド一覧 ……………	54
付録 4	RSHELL による遠隔操作……………	56
付録 5	製品仕様 ……………	58

付録 1 netcnfg.ini に設定可能なパラメーター一覧

netcnfg.ini ファイルに記述することができるパラメーターは下表に示す通りです。

※()は、無記述時の設定内容になります。

パラメーター名	説明	設定可能値 ※(無記述時)	出荷時設定
CCH	<p>本商品が使用する呼制御 UDP ポート番号を設定 <補足> IP マスカレードを使用した同一ネットワーク内での複数の LANdeVOICE 商品を設置する場合、CCH パラメーターの変更が必要となる。 (記述例 CCH 4445)</p>	※(4445)	4445 (表示されません)
IP	<p><本商品の IP アドレスを設定> お使いのネットワークに合わせて設定してください。数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 IP アドレスの後に「:」(半角コロン)でサブネットマスクもしくはマスクビットを設定します。 (記述例 IP 192.168.1.21:24)</p>	IP アドレス	192.168.1.20:24
ROUTER	<p><本商品のデフォルトゲートウェイの IP アドレスの設定> お使いのネットワークに合わせて設定してください。 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 サブネットマスクの記述は不要です マルチキャスト一斉放送を行う場合は、設定をしてください。デフォルトゲートウェイがない場合は、適当な値で構いません。 (記述例 ROUTER 192.168.1.1)</p>	IP アドレス	192.168.1.1
RSHELL	<p><本商品にリモートログイン許可の設定> ターミナル上でログイン(TCP 23 番を使用)すると、本商品の設定が可能になる。 ログイン後、通信がない場合は 10 分でタイムアウトする</p> <p>EN:ログイン可能 DIS:ログイン不可 (表示されません) (記述例 RSHELL DIS)</p> <p>パスワードの設定について パラメータ(SUPPORT)で設定</p>	EN DIS	EN
TFTP	<p><リモートから TFTP によるファイル書き換え許可の設定> ALL :すべての TFTP アクセスを許可 DIS : すべての TFTP アクセスを拒否 IP アドレス :設定した IP アドレスからのみ TFTP アクセスを許可します (記述例 TFTP 192.168.1.60)</p>	ALL DIS IP アドレス	ALL

◆参考情報◆

制御用のパケットが数 byte 流れます。

付録 2 syscnfg.ini に設定可能なパラメーター一覧

syscnfg.ini ファイルに記述することができるパラメーターは下表に示す通りです。

※()は、無記述時の設定内容になります。

パラメーター名	説明	設定可能値 ※(無記述時)	出荷時設定
MCH_IP	<p>マルチキャスト一斉放送を行うときの呼制御 IP アドレス一斉放送に関係する全ての LANdeVOICE 製品を同じ設定にしてください。 設定が異なると、放送ができません。 (記述例 MCH_IP 224.129.64.33)</p> <p>マルチキャストの音声(放送)の送信先マルチキャスト IP アドレスは、MCH_IP で設定した IP アドレスの第 4 オクテットに+1した値で順番に使用されます。 MCH_IP を 224.129.64.33 に設定した場合 224.129.64.34、224.129.64.35、・・・と使用される。</p> <p>◆参考情報◆ 放送の情報に関するパケット(ヘルスチェック)が、60 秒おきに MCH_IP で設定した IP アドレス宛に送信されます。情報の内容によって、データ量は異なります。</p>	IP アドレス ※(224.129.64.33)	224.129.64.33
MCH_PORT	<p>マルチキャスト一斉放送を行うときの呼制御ポート番号一斉放送に関係する全ての LANdeVOICE 製品を同じ設定にしてください。 設定が異なると、放送ができません。 (記述例 MCH_PORT 5000)</p>	1~65535 ※(5000)	5000
NTPTIMER	<p>(関連パラメーター:NTP_SRV) 時刻合わせに使用する NTP リクエストの送信間隔を設定します。 0 設定時は時刻合わせを行いません。 (記述例 NTPTIMER 24)</p>	0~72 ※(0)	未設定 (時間)
NTP_SRV	<p>(関連パラメーター:NTPTIMER) 時刻合わせに使用する NTP サーバの IP アドレスと Port 番号を設定します。 Port 番号省略時は Port 番号 123 が使用されます。</p> <p>形式: NTP_SRV NTP サーバ IP アドレス:Port 番号</p> <p>(記述例 NTP_SRV 133.40.41.175:123)</p>	IP アドレス ポート番号 (1~65535) ※(未設定)	未設定
SUPPORT	<p>(関連パラメータ:RSHELL) "RSHELL EN"設定時、セキュリティのためにパスワードを設定することが可能。LANdeVOICE にリモートログインした際、ここで設定した英数字を入力しないと設定内容閲覧・変更等は行うことができない。 (記述例 SUPPORT 123456)</p>	半角英数字 1~12 桁 ※(未設定)	未設定
TCH_BASE	<p>マルチキャスト同報時に使用する RTP(音声チャンネル)の UDP ポート番号の基本値になります。 この値を基準に放送時の音声ポートを使用します。 最大で 10 ポートまで使用します。 (記述例 TCH_BASE 5001) ※5001 に設定した場合、5001~5010 まで使用します。</p>	1~65535 ※(4447)	5001

パラメーター名	説明	設定可能値 ※(無記述時)	出荷時設定
WAV_NO	<p>放送の前と後に、放送受信端末にインストールした WAV ファイルを再生することができます。</p> <p>WAV_NO は、phone.tbl で指定している放送の優先度に対して、再生する WAV ファイルを指定するパラメーターです。</p> <p>(関連パラメーター:WAV_TBL)</p> <p>形式: WAV_NO [通し番号 1 2 …] [放送の優先度範囲] [開始音の WAV ファイル名※] ※開始音の WAV ファイル名は 1.wav~10.wav までの固定名となり任意のファイル名には変更できません。</p> <p>[放送の優先度範囲]には指定する優先度範囲でもっとも低い値を記述します。 次の WAV_NO の対象優先度範囲の開始番号は、前 WAV_NO で設定した優先度の一つ後から、設定値までになります。 優先度が高いものから順に設定してください。 本設定で指定しない放送の優先度については、WAV_NO1 で指定したファイルが再生されます。 最大 10 行まで設定できます。</p> <p><出荷時設定> WAV_NO 1 10 1 (説明: 優先度 1-10 の放送は、開始音 1.wav、終了音 129.wav を再生する)</p> <p>WAV_NO 2 29 2 (説明: 優先度 11-29 の放送は、開始音 2.wav、終了音 130.wav を再生する)</p> <p>WAV_NO 3 100 3 (説明: 優先度 30-100 の放送は開始音 3.wav、終了音 131.wav を再生する)</p> <p>※出荷時設定では、優先度 101~255 については、WAV_NO1 で指定したファイルが再生されます。</p> <p><無記述時> WAV_NO 1 10 1 WAV_NO 2 255 2 WAV_NO 3 0 1 WAV_NO 4 0 1 WAV_NO 5 0 1 WAV_NO 6 0 1 WAV_NO 7 0 1 WAV_NO 8 0 1 WAV_NO 9 0 1 WAV_NO 10 0 1</p>	半角英数字 10 行まで ※(説明欄を参照)	説明欄を参照

パラメーター名	説明	設定可能値 ※(無記述時)	出荷時設定
WAV_TBL	<p>放送の前と後に、放送受信端末にインストールした WAV ファイルを再生することができます。</p> <p>WAV_TBLパラメーターは、wavファイルの再生秒数を設定します。</p> <p>(関連パラメーター:WAV_NO)</p> <p>形式: WAV_TBL [開始音の WAV ファイル名] [開始音の再生秒数] [終了音の再生秒数]</p> <p>開始音と終了音の WAV ファイル名組合せ一覧(固定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始音:1.wav 終了音:129.wav ・開始音:2.wav 終了音:130.wav ・開始音:3.wav 終了音:131.wav ・開始音:4.wav 終了音:132.wav ・開始音:5.wav 終了音:133.wav ・開始音:6.wav 終了音:134.wav ・開始音:7.wav 終了音:135.wav ・開始音:8.wav 終了音:136.wav ・開始音:9.wav 終了音:137.wav ・開始音:10.wav 終了音:138.wav <p>※受信端末にインストールする音声ファイルは弊社サイトからダウンロード可能です。 音声ファイルをお客様が用意する場合のフォーマットについてはお問い合わせください。</p> <p><出荷時設定> WAV_TBL 1 9 4 (説明: 開始音 1.wav 9 秒 終了音 129.wav 4 秒) WAV_TBL 2 9 4 (説明: 開始音 2.wav 9 秒 終了音 130.wav 4 秒) WAV_TBL 3 4 4 (説明: 開始音 3.wav 4 秒 終了音 131.wav 4 秒)</p> <p><無記述時> WAV_TBL 1 9 0 WAV_TBL 2 3 3 WAV_TBL 3 0 0 WAV_TBL 4 0 0 WAV_TBL 5 0 0 WAV_TBL 6 0 0 WAV_TBL 7 0 0 WAV_TBL 8 0 0 WAV_TBL 9 0 0 WAV_TBL 10 0 0</p> <p><弊社サイトからダウンロード可能な音声ファイルの内容> 1.wav→「ウ～ウ～ウ～」 2.wav→「ウ～ウ～ウ～」 3.wav→「ピンポンパンポン」(上がる) 129.wav→「ピンポンパンポン」(下がる) 130.wav→「ピンポンパンポン」(下がる) 131.wav→「ピンポンパンポン」(下がる)</p> <p>ダウンロード URL: http://www.a-2.co.jp/landevoice/support/downroad/farmware.html</p>	<p>半角英数字 10 行まで ※(説明欄を参照)</p>	<p>説明欄を参照</p>

付録3 コマンド一覧

コマンド名	解説
netcnfg	基本設定 (netcnfg.ini) の内容を表示
config	基本設定 (netcnfg.ini) を変更するモード
type syscnfg.ini	システム設定 (syscnfg.ini) の内容を表示
type phone.tbl	電話番号テーブル (phone.tbl) の内容を表示
phone	実際に有効な電話番号テーブル (phone.tbl) の内容を表示
reset	本商品を再起動します (設定変更後に reset を行うと変更後の設定内容が有効になります。)
ping	対象機器と通信の疎通が取れているか確認します 使用例 : ping 192.168.0.101 (ping の後に IP アドレスを入力します)
ver	本商品のファームウェアのバージョンを表示
dir	本商品に設定されているファイルの一覧を表示
del	不要なファイルを削除 【削除方法】 del +半角スペース+削除したいファイル名 【使用例】 del phone.tbl
format	本商品のファイルをすべて削除 【削除方法】 format [enter]の後に 削除をする場合は「y」 削除をキャンセルする場合「n」



注意 『format』 『del』 コマンドについて

本商品が故障したときの復旧作業時以外は絶対に使用しないで下さい。
システム故障の原因となります。お買い上げの販売店・代理店の指示に従い、使用してください。

■ <コマンド使用例>

【解説】

①ping コマンド実行時（通信できている状態）

IP アドレス「192.168.1.20」の端末へ、通信が可能かチェックした結果が表示されています。最後の行「received 4/4 packets (0% loss)」は通常に通信できている結果が出ています。

```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$ping 192.168.1.20
Start Ping to 192.168.1.20...
64 octets from 192.168.1.20: icmp_seq=0 time=0ms TTL=64.
64 octets from 192.168.1.20: icmp_seq=1 time=0ms TTL=64.
64 octets from 192.168.1.20: icmp_seq=2 time=0ms TTL=64.
64 octets from 192.168.1.20: icmp_seq=3 time=0ms TTL=64.
received 4/4 packets (0 % loss)
$
接続 0:06:10 自動検出 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印

```

②…ping コマンド実行時（通信できていない状態）

IP アドレス「192.168.1.50」の端末へ、通信が可能かチェックした結果が表示されています。通信不能の状態を表しています。

```

19200 - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$ping 192.168.1.50
Start Ping to 192.168.1.50...
TIME OUT...
TIME OUT...
TIME OUT...
TIME OUT...
received 0/4 packets (100 % loss)
$
接続 0:02:25 自動検出 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印

```

③…ver コマンド実行時

本商品のファームウェアのバージョンが表示されています。

④…dir コマンド実行時

本商品に入っているファイルを表示しています。

それぞれの表記が表しているファイルは以下の通りです。

(※netcnfg.ini ファイルは表示されません)

- syscnfg.ini : システム設定ファイル
- phone.tbl : 電話番号
設定ファイル
- dlap.elf : ファームウェア

```

LANde VOICE - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
$
$ver
MTSV Ver 1.3.3 (2009-06-11 09:42:18).
$dir
dlap.elf      219504  00-01-08 Sat 16:29:34
phone.tbl    211     00-01-08 Sat 16:29:39
syscnfg.ini  562     00-01-08 Sat 16:29:39
631168 byte is free
$
接続 0:38:04 VT100J 19200 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ

```

付録 4 RSHELL による遠隔操作

本商品は netcnfg.ini パラメーター「RSHELL」の設定により、TELNET を利用した遠隔操作による設定確認等が行えます。行える操作は次の通りです。

- ・ netcnfg …設定内容表示
- ・ config コマンドによる設定変更(※TELNET での IP アドレス変更は十分ご注意ください)
- ・ syscnfg.ini …設定内容表示のみ(ファイル転送はシリアルで転送してください)
- ・ phone.tbl …設定内容表示のみ(ファイル転送はシリアルで転送してください)

注意 RSHELL は以下のことに注意しご利用下さい。

- ・「RSHELL」はサポート用パラメーターです。LANdeVOICE 管理者のみご利用いただけます。
- ・この機能を利用した設定変更は、事前によく変更内容を検討の上、行ってください。特に IP アドレス変更はその後の通信に影響が出る場合があります。ご注意ください。
- ・同時アクセスは、1アクセスのみ有効です。

<コマンドプロンプトでの操作方法について>

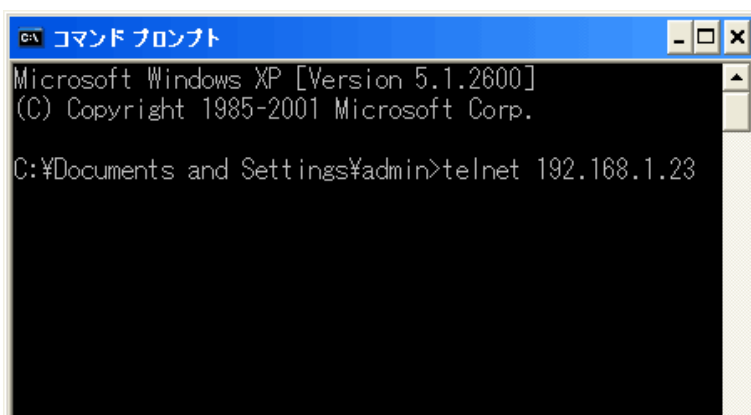
手順1:[スタート]メニューから

[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を開きます。

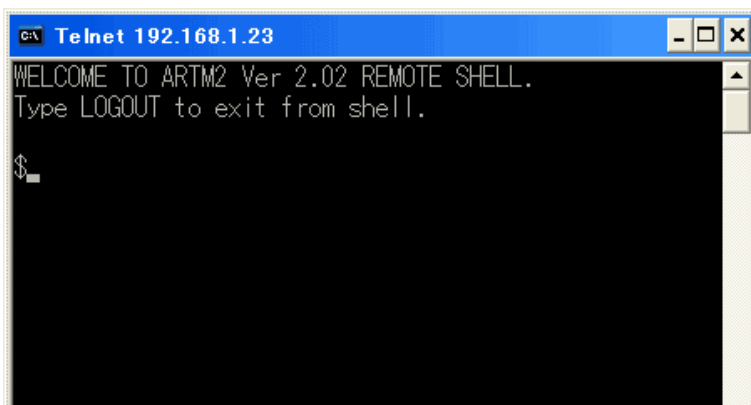
手順2:TELNET に続いて、次のように入力後、enter キーを押し本商品へ接続します。

TELNET (例) telnet 192.168.1.23

半角スペース



コマンド入力時

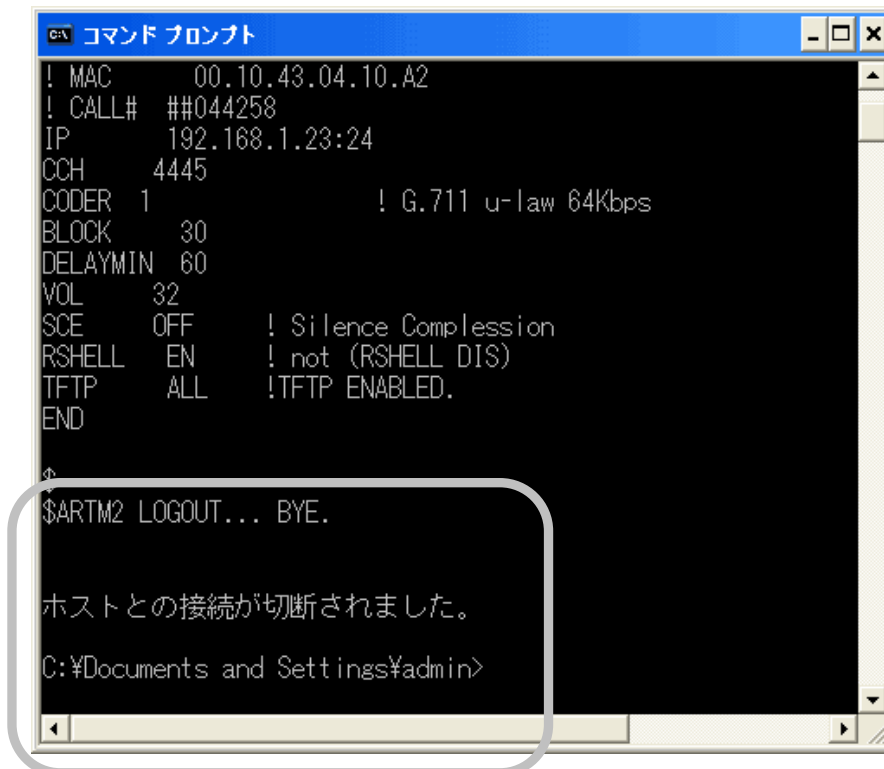


通信状態

手順3:以後、操作方法はハイパーターミナル時と同様です。

ただし、コマンド入力時の文字は表示されません。また syscnfg.ini ファイル、phone.tbl ファイルは確認のみ可能です。(ファイル転送はシリアルで転送してください)

また **reset** を行うと、一旦切断されます。再度接続し変更部分が反映されているかご確認ください。



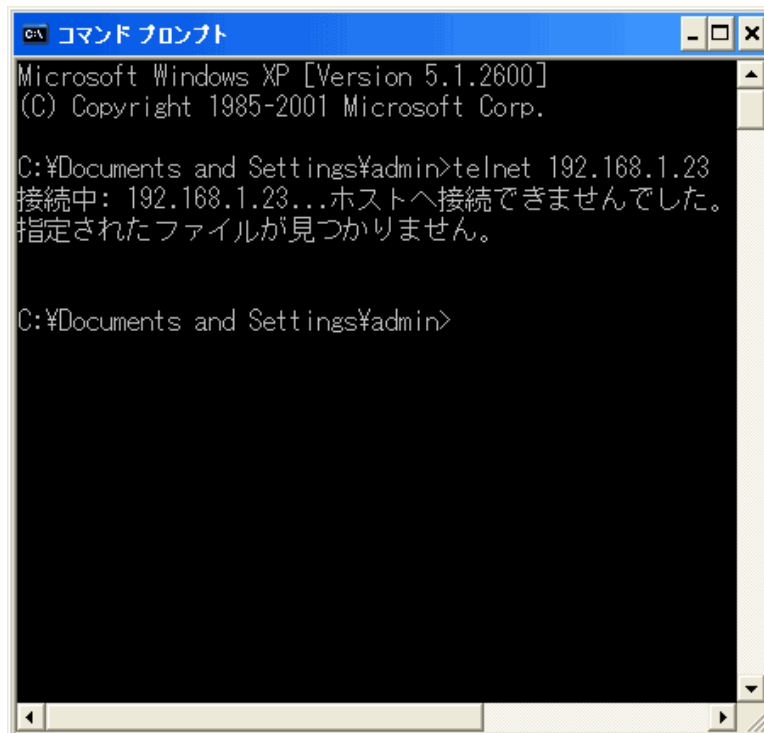
```
コマンド プロンプト
! MAC      00.10.43.04.10.A2
! CALL#    ##044258
IP         192.168.1.23:24
CCH        4445
CODER      1          ! G.711 u-law 64Kbps
BLOCK      30
DELAYMIN   60
VOL        32
SCE        OFF       ! Silence Compression
RSHELL     EN        ! not (RSHELL DIS)
TFTP       ALL      !TFTP ENABLED.
END
$
$ARTM2 LOGOUT... BYE.

ホストとの接続が切断されました。
C:\Documents and Settings¥admin>
```

手順4:終了の際は LOGOUT と入力します。入力後、枠内の様に表示されます。

◆次のようなメッセージが表示された場合、以下の設定を再度確認してください。

- ①netcnfg.ini ファイルの RSHELL の設定
- ②入力した IP アドレスの間違ってないか
- ③syscnfg.ini の「RSHELL_PORT」でパスワードが設定されていないか
- ④パソコンのセキュリティが設定されていないか
- ⑤スイッチでフィルターをかけて通さない設定になっていないか(設定を解除してください)



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings¥admin>telnet 192.168.1.23
接続中: 192.168.1.23...ホストへ接続できませんでした。
指定されたファイルが見つかりません。

C:\Documents and Settings¥admin>
```

付録 5 製品仕様

チャンネル数		1 回線
プロトコル		独自プロトコル (IP+UDP)
LAN	インターフェース	10BASE-T
	IP アドレス	固定 IP アドレスのみ (IPv4)
放送	登録グループ数	255
	優先度	1~255 (優先度 1 が 1 番高く、255 が 1 番低い)
	同時同報数	最大 10 放送まで
電源 (AC アダプタ給電)	入力	入力：正弦波 AC100V 50/60Hz 正弦波以外の入力時には正常に動作しない場合があります。 UPS (無停電電源装置) をご使用される場合はご注意ください。 お客様にて予め動作をご確認ください。
	出力	DC9V 1A (最大 9W)
サイズ mm		幅 100 mm × 奥行き 147mm × 高さ 31mm
本体重量		約 300g
動作保証温度		0°C~40°C
動作保証湿度		20~80% (ただし結露なきこと)

保証書

この製品は、厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、この保証書に記載された内容により修理致します。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

- 故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください
- E-mail でお問い合わせ下さい。
- センドバック修理の際、必ず保証書をそえてご依頼下さい。また送料につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理はセンドバック方式です。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 1. 取扱い上の誤り及び不当な改造や修理による故障及び損傷
 2. お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障及び損傷
 3. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合）
 4. 火災、落雷、塩害、ガス害、異常電圧及び天災地変等による故障及び損傷
 5. 保証書のご提示がない場合
 6. 代理店の捺印がない場合、あるいは字句を勝手に訂正された場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとします

(This guaranty is valid only Japan.)

製品名	LANdeVOICE MTSV
保証期間	年 月 日より 1 年間

販売代理店記入欄	代理店名	印
	代理店住所	TEL ()

株式会社エイツー
〒142-0041
東京都品川区戸越 1-7-1 戸越NIビル 7F
URL: <http://www.a-2.co.jp>

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 戸越 NIビル 7F

URL : <http://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

E-mail : LANdeVOICE@a-2.co.jp

受付時間 : 9:30～12:00 13:00～17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>

<お問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、良くお読みください。正しい使用方法で使用情况のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ・商品名
- ・シリアル番号(S/N)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX 番号、E-MAIL アドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容(できるだけ詳しくお知らせください)

現象(どのような症状が発生するのか、どのような状況で発生するのか)

ネットワークとの接続状況や使用されているネットワーク機器等